



第55回日本小児保健学会

55th Annual Meeting of The Japanese Society of Child Health

家族、学校、そして社会の絆を太くする

プログラム

会 期:平成20年(2008年)9月25日(木)~27日(土)**【3日間】**

会 場:札幌コンベンションセンター

〒003-0006 北海道札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1

TEL:011-817-1010 FAX:011-820-4300

URL:<http://www.sora-scc.jp/>

会 頭:堤 裕幸(札幌医科大学医学部小児科学講座)

事 務 局:札幌医科大学医学部小児科学講座

事務局長 永井 和重(札幌医科大学医学部小児科学講座講師)

〒060-8543 北海道札幌市中央区南1条西16丁目

TEL:011-611-2111(3413) FAX:011-611-0352

学会URL:<http://www2.convention.co.jp/55jsch/>

【プログラム委員】

鈴木 信寛(委員長)、岡 敏明、氏家 武、蝦名 美智子、今野 美紀、永井 和重

【後援】

北海道 札幌市 北海道医師会 札幌市医師会 北海道小児科医会 札幌市小児科医会
北海道歯科医師会 北海道小児保健研究会 日本小児科学会北海道地方会

— ご 挨拶 —

第 55 回日本小児保健学会開催にあたって

北の都、札幌へようこそ。第 55 回日本小児保健学会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。北海道で日本小児保健学会が開催されますのは今回で 10 年ぶり 5 回目となります。1968 年に故南浦 邦夫先生（第 15 回、札幌）、1981 年に故中尾 亨先生（第 28 回、札幌）、1991 年に故吉岡 一先生（第 38 回、旭川）、そして 1999 年には南部春生先生が開催されております（第 46 回、札幌）。北海道は広大で、緑に溢れた豊かな自然を有しています。一方、長い冬の厳しさもあります。この雄大で厳しい自然環境を有する北海道が、今後、益々子育てにふさわしい大地となる様に努力していきたいと考えています。

本学会のメインテーマを“家族、学校、そして社会の絆を太くする”としました。昨今、家族、学校、そして社会のいずれにおいても個と個、個と集団、そして集団と集団との関係、いわゆる絆が少しずつ細くなってきている様に思われます。そして、それが子ども達の成長・発達に何らかの負の影響を与えているのではないのでしょうか。それらの絆を再び太くする努力が、今求められています。このテーマに沿って特別講演 1 題、招待講演 2 題、教育講演 3 題、シンポジウム 5 題を企画しました。

まず、感染症の分野では 21 世紀は予防接種の世紀になるであろうと言われているところから、この分野の第一人者である神谷 齊先生に予防接種と小児保健をテーマとした特別講演をいただきます。招待講演では、北海道を、その雄大な自然と動物達を紹介していただく中で知ってもらおうと考え、写真家の竹田津 実様と札幌円山動物園園長の金澤 信治様をお願いしました。教育講演では感染症が小児保健に与える影響、アスペルガー症候群、そして児童青年の犯罪についてお話していただきます。いずれも注目されている話題です。シンポジウムではインターネットと子どもの心、小児のメタボリックシンドローム、いじめ問題、傷害予防活動など、昨今、社会的にも医学的にも注目を集め、解決の道筋が付けられるべき准緊急の課題を取り上げます。また、最近、小児医療の現場で重要性が認識され、その導入が求められているプレパレーションの話題もシンポジウムとしました。本学会の一般演題はパワーポイントによる発表のみにさせていただきます。3 日間どうぞ宜しくお願い致します。また、秋の札幌・北海道を十分にお楽しみ下さい。

2008 年 9 月 第 55 回日本小児保健学会

会頭 堤 裕幸

(札幌医科大学医学部小児科)

会場までのアクセス

札幌コンベンションセンター

〒003-0006 札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1
TEL:011-817-1010 FAX:011-820-4300

■地下鉄利用の場合

東西線東札幌駅から徒歩で約8分です。

■JRバス利用の場合

札幌駅から路線バスが運行されております。コンベンションセンター前にバス停があります。

■新千歳空港利用の場合

新千歳空港からJR線快速エアポートを使って28分で新札幌駅に、また更に8分で札幌駅に到着します。

アクセス別所要時間

■新千歳空港から

新千歳空港 新千歳空港連絡バス 40分 → 地下鉄大谷地駅 地下鉄東西線 10分 → 地下鉄東札幌駅 徒歩 8分

新千歳空港 JR 30分 → JR新札幌駅 地下鉄東西線 13分 → 地下鉄東札幌駅 徒歩 8分

■札幌都心から

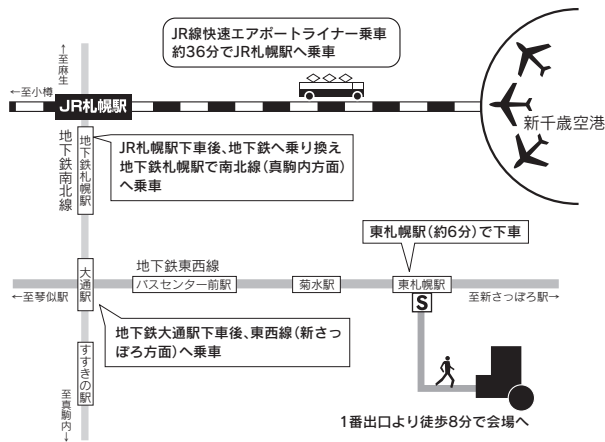
JR札幌駅 地下鉄南北線 2分 → 地下鉄大通駅 地下鉄東西線 6分 → 地下鉄東札幌駅 徒歩 8分

JR札幌駅(バスタミナル) JRバス循環3 約19分

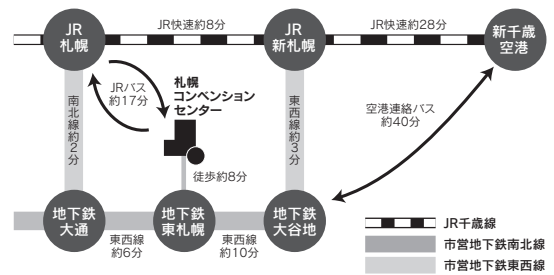
札幌都心から タクシー/マイカー 10分

札幌コンベンションセンター

お勧めアクセスコース



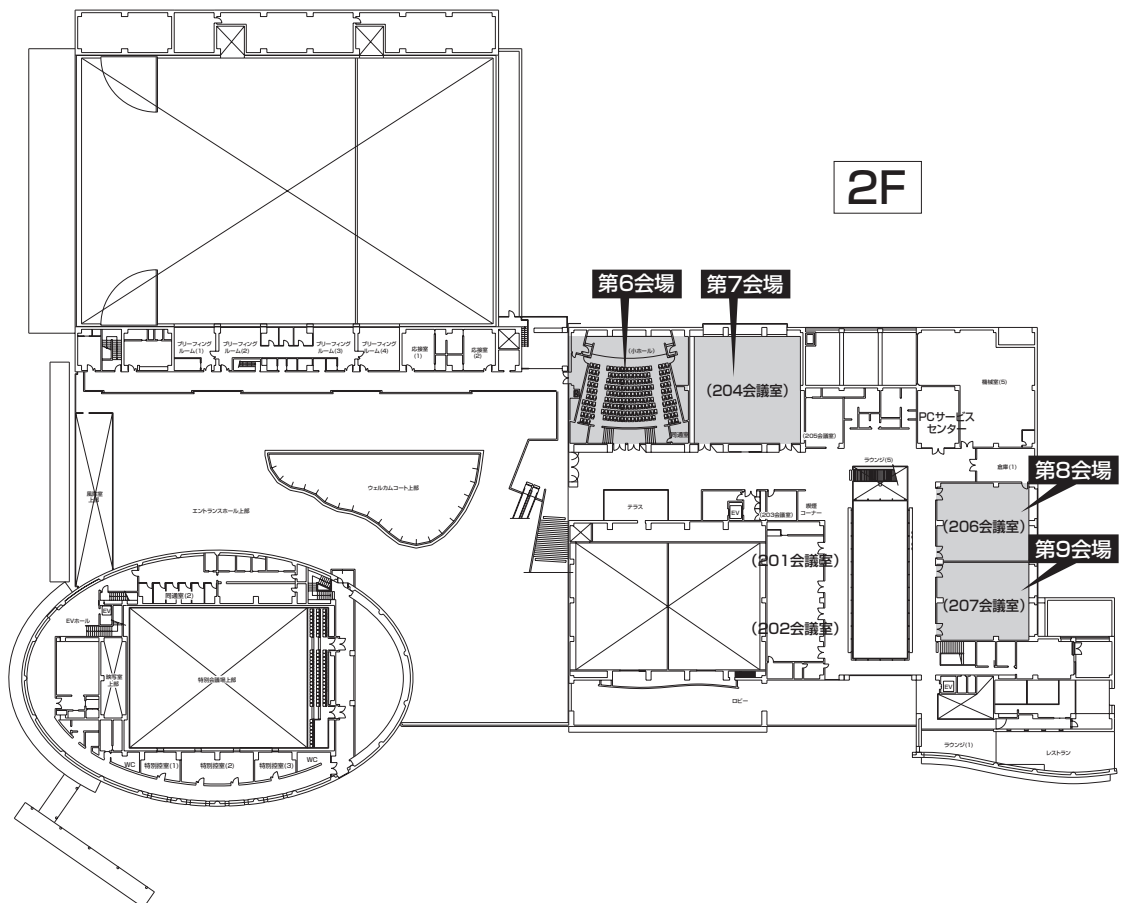
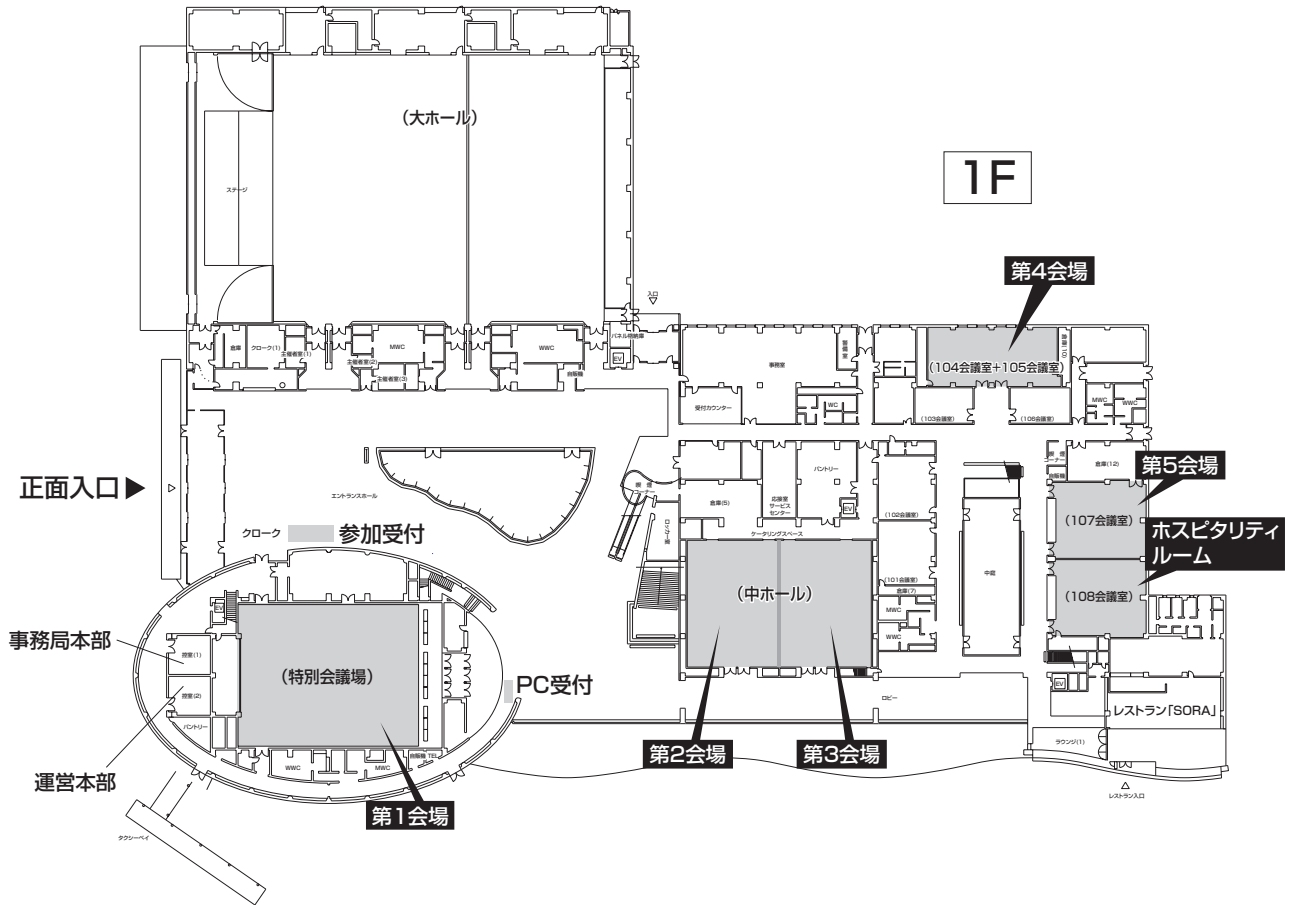
交通機関からのアクセス



会場周辺図



会場案内図



参加者へのご案内

1. 登録・受付について

(1) 登録

本学会に参加される方は、必ず事前あるいは当日に登録手続きをしていただきますようお願い致します。登録されたかたに発行させていただくネームカード（登録証）については、再発行はいたしませんのでご注意ください（お忘れになった場合や紛失された場合には再登録手続きが必要になります）。学会開催期間中、会場内ではネームカードを常時ご着用ください。ネームカードホルダーを、学会当日総合受付にてご用意いたしますのでご利用ください。

尚、学会開催期間中、日本小児保健協会入会ご希望の際は、総合受付にて入会手続きを受付いたします。

(2) 登録費・講演集代

種別	金額
参加登録費	10,000円（事前8,000円）
講演集	3,000円
懇親会費	3,000円

※参加登録費には、講演集代は含まれておりません。別売となります。

(3) 事前参加登録（2008年8月20日締切）

事前参加登録をしていただいた方には、ネームカード（登録証）、及び事前に講演集購入をしていただいた方で、事前発送をご希望の方には講演集をお送りさせていただきます。尚、講演集購入をしていただいた方で事前発送をご希望ではない方には引換券をお送りさせていただきますので、当日窓口にて引き換えて下さい。

尚、締切日（2008年8月20日）以降に入金手続きをされた場合は、当日登録の扱いとさせていただきますので、学会当日総合受付にて払込金受領書をご提示下さい。

2. 会場について

会場内でのスライドの写真・ビデオ撮影、講演音声の録音、携帯電話の呼び出し音などはお控え下さい。また、会場内での飲食、喫煙は所定の場所のみにてお願い致します。会場内での参加者の呼び出し・伝言は原則として行いません。

3. その他

(1) 会員懇親会

日時：2008年（平成20年）9月26日（金）18：30～

会場：キリンビール園（本館・中島公園店）

〒064-0810 北海道札幌市中央区南10条西1丁目1-60

TEL：011-533-3000 FAX：011-533-7055

会費：3,000円…事前参加登録時に、お申込できます。尚、当日の受付も可能です。

～北海道名物 ジングスカン（食べ放題 & 飲み放題）を予定しております～

※シャトルバスをご用意しておりますので、ご利用下さい。

詳細は当日学会会場受付にてご案内させていただきます。

(2) 単位

本学会の参加は、日本小児科学会専門医・認定医制度の取扱いで10単位が認められます。

(3) 託児所

9月25日（木）から27日（土）の期間中、学会参加者の方を対象に、託児所を開設します。

※完全ご予約制となっておりますので、ご予約のない場合にはご利用いただけません。

尚、託児所のスペースの関係上、定員になり次第締め切らせていただきますので、予めご了承下さい。

- 利用日時 9月25日(木)：13：00～18：00
 9月26日(金)：9：00～17：30
 9月27日(土)：9：00～15：30
- 会場 セキュリティ確保の為、お申込者のみにご案内いたします。
- 申込方法 本学会ホームページにあります申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
- 申込締切日 9月19日(金)
- お問合せ先 札幌ベビーシッター
 TEL：011-281-0511/FAX：011-261-1873/E-mail：info@sapporobaby.com

(4) 機器展示

学会期間中、札幌コンベンションセンター 1F 特別会議場（第1会場）周辺ロビーにて行います。

(5) ホスピタリティールーム（休憩場所）

学会期間中、札幌コンベンションセンター 1F 108にてご利用いただけます。

(6) ビジネスセンター（PC サービスルーム）

学会期間中、札幌コンベンションセンター 2F 206（第8会場）横にてご利用いただけます。

(7) 市民公開講座

9月25日(木)

シンポジウム1 14：00～15：30 第1会場（札幌コンベンションセンター /1F/ 特別会議場）

シンポジウム2 15：30～17：30 第1会場（札幌コンベンションセンター /1F/ 特別会議場）

(8) DENVERⅡ - デンバー発達判定法 - 判定技術養成講習会

日時：2008年（平成20年）9月25日(木) 13：00～

会場：札幌コンベンションセンター /2F/204

(9) 保育園看護職の交流会

『保育園看護職の交流会』＝語り合いましょう！保育園の看護職ってどんな仕事？＝

◎「保育指針に記された看護職の役割とは？」のミニレクチャーがあります。

日時：2008年（平成20年）9月25日(木) 18：00～

場所：札幌コンベンションセンター /1F/107

問合せ先：全国保育園保健師看護師連絡会 吉木 美恵（TEL：011-886-0415 FAX：011-886-7550）

(10) ランチョンセミナー

お弁当とお茶が提供されます。尚、事前申込制ではありません。

(11) セッション記号

IL：招待講演	EL：教育講演	S1～S5：シンポジウム
01、02：一般演題（01→26日／02→27日）		LS：ランチョンセミナー

各種委員会・その他会議

理事・支部長会議	9月25日(木)	15：00～16：00	第5会場	1F
代議員会	9月25日(木)	16：00～17：00	第5会場	1F
総会	9月26日(金)	11：00～12：00	第1会場	1F
編集委員会	9月26日(金)	12：00～13：00	201	2F
発育委員会	9月26日(金)	12：00～13：00	101A	1F
栄養委員会	9月26日(金)	12：00～13：00	102A	1F
予防接種感染症委員会	9月26日(金)	12：00～13：00	101B	1F
小児医療委員会 事故予防検討会	9月26日(金)	12：00～13：00	特別控室3	2F
学校保健委員会	9月26日(金)	12：00～13：00	特別控室2	2F
乳幼児健診システム委員会	9月26日(金)	12：00～13：00	102B	1F
平成22年度幼児健康度調査委員会	9月26日(金)	12：00～13：00	202	2F
小児救急の社会的サポートに関する委員会	9月26日(金)	11：30～12：30	特別控室1	2F
合同委員会	9月27日(土)	12：00～13：00	201+202	2F

座長・演者へのご案内

□ 座長の方へ

ご担当のセッション開始時間 30 分前までに該当会場の進行席(会場前方右側)にお立ち寄り下さい。
事務局からの連絡事項がありましたら、その際にお伝えいたします。

□ 演者の方へ ≪ PC (パーソナルコンピューター) 発表について ≫

(1) 発表時間

- | | | | | |
|---------|----------|-----|-------|-----|
| ・教育講演 | 発表 | 30分 | ・質疑応答 | 10分 |
| ・シンポジウム | 座長の指示による | | | |
| ・一般口演 | 発表 | 6分 | ・質疑応答 | 4分 |

発表時間は厳守して下さい。

発表終了 1 分前に黄色ランプ、終了時に赤ランプを点灯いたします。

(2) 発表形式

すべて、PC による発表のみ (1 面) となります。その他のスライド・ビデオなどは使用できませんのでご注意ください。アプリケーションは、Power Point 2000/2003/2007 をご使用下さい。

発表用ファイルについては、原則として、USB メモリーあるいは CD-R での持込みのみとさせていただきます。Windows で動画をご利用の場合、Windows VISTA の場合、Macintosh での発表の場合は PC 本体をお持ち込み下さい。

(3) 発表方法

発表開始時間の 30 分前までに PC 受付 (1F 第 1 会場前) にお越しいただき、発表用ファイルの試写を行って下さい。(発表開始時間が朝 9 時～9 時 30 分の方は、8 時 30 分までにお越しただければ結構です。また、前日受付も可能です) PC 受付にてご持参いただきました USB メモリーあるいは CD-R から発表用ファイルを取り込み、発表会場に転送しスタンバイいたします。発表後、コピーファイルについては、主催者側にて責任を持って消去いたします。

< PC 受付 >

※セミナー開始、30 分前までに「PC 受付」にて受付を終えてください。

【場 所】 1F 第 1 会場前 (特別会議場)

【開設時間】 9 月 25 日 (木) 12 時 00 分～17 時 00 分

9 月 26 日 (金) 9 時 00 分～17 時 00 分

9 月 27 日 (土) 9 時 00 分～14 時 30 分

※発表前日でも受付が可能です。朝一番の発表の方は前日受付をお勧めいたします。

(4) 当日の流れ

- ・発表 30 分前には PC 受付で備え付けの PC で発表ファイルの動作を確認して頂きます。その際に、係員がお預かりしたデータをこちらの PC にコピーいたします。
- ・受付での時間のかかる編集はお断りします。あらかじめ編集が必要であればご自身の PC をご用意して下さい。また受付後、編集をした際は、もう一度受付をして下さい。
- ・発表会場ではデータの修正はできませんので、予めご了承下さい。
- ・演題の発表の順番が来た時には最初のスライドをスクリーンへ投影いたします。原則として、発表者に演台上にてスライド操作していただきます。また演台にレーザーポインターを用意しておりますのでご利用下さい。

※コピーされたデータは学会終了後、主催者側で責任を持って消去いたします。

(5) 発表データ作成について

Windows（動画あり）の場合、Windows VISTA の場合、Macintosh での発表の場合は本体持込、Windows（動画なし）の場合はデータでの持込のみとさせていただきます。

- ・発表データ持込の場合は USB か CD-R にてご持参下さい。なお、スクリーンは1面です。
- ・フォントは画像レイアウトのバランスや文字化けを防ぐため OS に標準でインストールされているものでお願い致します。下記のフォントを推奨致します。
MS ゴシック・MSP ゴシック・MS 明朝・MSP 明朝
Arial・Arial Black・Century・Century Gothic
- ・ファイル名は「演題番号_演者名.ppt」として下さい。
(例：S1-01_小児花子.ppt/O1-001_保健太郎.ppt) ※注「.ppt」は拡張子（英数半角）
- ・Macintosh での発表をご希望の場合は、PC 本体をお持込下さい。尚バックアップデータも併せてお持ち下さい。
- ・スライド・ビデオは使用できませんのでご注意下さい。
- ・発表の30分前までに、PC 受付にてご自身の発表データを確認後、会場内の次演者席にてお待ち下さい。本体をお持込の場合はPC 受付にてデータの確認のみを行い、ご自身で会場内へ運んで頂き会場内におりますオペレータにお渡し頂き、セッション終了後ご自身でお引取りをお願いします。
- ・OS とアプリケーションは以下のものをご用意致します。
OS：Windows（2000以降）、Macintosh（Mac OS9以降）
アプリケーション：PowerPoint 2000/2003/2007
- ・ご持参いただくメディアには、当日発表されるデータ（完成版）以外のデータを入れないようにして下さい。
- ・発表データ作成後、作成したパソコン以外のパソコンで正常に動作するかチェックして下さい。

(6) PC 本体をもちこまれる場合の注意事項

- ・会場での接続コネクタは、D-sub 15 pin タイプです。PC の外部モニター出力端子の形状をご確認下さい。変換コネクタが必要な場合はご持参下さい。



D-sub15 ピン（ミニ）



付属外部出力 ケーブル 例

- ・AC アダプターは各自ご持参下さい。
- ・接続トラブルなどの場合に備え、バックアップデータを必ずお持ち下さい。
- ・データの容量は最大 512MB までとさせていただきます。

(7) 動画を使用される場合の注意事項 動画使用の方は本体持込を推奨します。

- ・動画や音声をご使用になる場合は、データ登録の際に必ずお知らせください。
- ・動画の参照ファイルがある場合は、発表データと一緒に動画データを一つのフォルダに入れてください。
- ・Windows の場合 XP（OS）及び Windows Media Player9 の初期状態に含まれるコーデックで再生できる動画ファイルをお持ちください。（動画ファイルは MPEG1 形式を推奨します）Macintosh の場合 X（OS）及び Quick Time Player の初期状態に含まれるコーデックで再生できる動画ファイルをお持ちください。（動画ファイルは MPEG1 形式を推奨します）
- ・PC 本体を持込みの場合、バッテリーでのご発表はトラブルの原因になります。必ず電源アダプタをご用意ください。
- ・メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、最新のウイルス駆除ソフトでチェックしてください。

日本小児保健学会 会頭一覽

回 (開催年月)	開催地	会 頭
第 1 回 (1945 年 11 月)	東 京	齋藤 文雄
第 2 回 (1955 年 10 月)	大 阪	西沢 義人
第 3 回 (1956 年 10 月)	福 岡	円城寺宗徳
第 4 回 (1957 年 9 月)	仙 台	佐野 保
第 5 回 (1958 年 9 月)	東 京	中村 文弥
第 6 回 (1959 年 12 月)	名古屋	坂本 陽
第 7 回 (1960 年 11 月)	東 京	小林 彰
第 8 回 (1961 年 11 月)	広 島	大谷 敏夫
第 9 回 (1962 年 10 月)	新 潟	小林 収
第 10 回 (1963 年 10 月)	熊 本	貴田 丈夫
第 11 回 (1964 年 10 月)	金 沢	佐川 一郎
第 12 回 (1965 年 11 月)	京 都	永井 秀夫
第 13 回 (1966 年 10 月)	東 京	齋藤 潔
第 14 回 (1967 年 10 月)	岡 山	浜本 英次
第 15 回 (1968 年 10 月)	札 幌	南浦 邦夫
第 16 回 (1969 年 10 月)	東 京	内藤寿七郎
第 17 回 (1970 年 10 月)	久留米	船津維一郎
第 18 回 (1971 年 10 月)	盛 岡	若生 宏
第 19 回 (1972 年 11 月)	群 馬	松村 龍雄
第 20 回 (1973 年 10 月)	徳 島	宮尾 益英
第 21 回 (1974 年 11 月)	東 京	国分 義行
第 22 回 (1975 年 10 月)	青 森	泉 幸雄
第 23 回 (1976 年 10 月)	長 崎	浅野 清治
第 24 回 (1977 年 10 月)	神奈川	入江 英博
第 25 回 (1978 年 10 月)	鳥 取	堀田 正之
第 26 回 (1979 年 11 月)	東 京	林 路彰
第 27 回 (1980 年 10 月)	東 京	中山健太郎
第 28 回 (1981 年 9 月)	北海道	中尾 亨
第 29 回 (1982 年 9 月)	沖 縄	知念 正雄
第 30 回 (1983 年 10 月)	埼 玉	高木 泰
第 31 回 (1984 年 10 月)	京 都	楠 智一
第 32 回 (1985 年 10 月)	秋 田	東 音高
第 33 回 (1986 年 10 月)	東 京	植田 穰
第 34 回 (1987 年 11 月)	高 知	尾本文之助
第 35 回 (1988 年 10 月)	新 潟	堺 薫
第 36 回 (1989 年 11 月)	広 島	清水 凡生
第 37 回 (1990 年 10 月)	神奈川	水原 春郎
第 38 回 (1991 年 9 月)	旭 川	吉岡 一
第 39 回 (1992 年 11 月)	鳥 根	森 忠三
第 40 回 (1993 年 10 月)	金 沢	四家正一郎
第 41 回 (1994 年 9 月)	水 戸	澤田俊一郎
第 42 回 (1995 年 10 月)	長 崎	辻 芳郎
第 43 回 (1996 年 9 月)	神奈川	小宮 弘毅
第 44 回 (1997 年 10 月)	京 都	澤田 淳
第 45 回 (1998 年 9 月)	東 京	前川 喜平
第 46 回 (1999 年 10 月)	札 幌	南部 春生
第 47 回 (2000 年 11 月)	高 知	倉繁 隆信・喜多村 勇
第 48 回 (2001 年 11 月)	東 京	青木 繼稔
第 49 回 (2002 年 10 月)	神 戸	中村 肇
第 50 回 (2003 年 10 月)	鹿 児 島	銚之原 昌
第 51 回 (2004 年 11 月)	盛 岡	千田 勝一
第 52 回 (2005 年 10 月)	下 関	古川 漸
第 53 回 (2006 年 10 月)	山 梨	大山 建司
第 54 回 (2007 年 9 月)	群 馬	森川 昭廣
第 55 回 (2008 年 9 月)	札 幌	堤 裕幸

日程表 第1日目 9月25日(木)

招待講演:IL 教育講演:EL シンポジウム:S1~S5
 ランチョンセミナー:LS 一般演題:O1、O2

	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
第1会場 特別会議場		シンポジウム1 インターネットと子どもの こころ(市民公開講座) S1-01~S1-03 座長:沖 潤一・林 隆 演者:坂元 章・氏家 武 田村 毅		シンポジウム2 小児のメタボリックシンドローム (市民公開講座) S2-01~S2-04 座長:松浦 信夫・伊藤 善也 演者:三國 清三・永井 成美 小池 明美・菊池 透				
第2会場 中ホールA								
第3会場 中ホールB								
第4会場 104+105								
第5会場 107			理事・支部長 会議	代議員会			全国保育園保健師 看護師連絡会	
第6会場 小ホール								
第7会場 204		DENVER II 講習会						
第8会場 206								
第9会場 207								

日程表 第2日目 9月26日(金)

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00
第1会場 特別会議場		教育講演1 感染症と小児保健 -学校や幼稚園・保育園に おける感染症への気配り- EL1 座長：加藤 達夫 演者：岡部 信彦	会頭講演 感染免疫から 見た、親と子、 そして社会の絆	会長講演 小児保健の これから -社会の絆を問う-	総会
第2会場 中ホールA		教育講演2 アスペルガー症候群 の理解と対応 EL2 座長：長 和彦 演者：宮本 信也			ランチョンセミナー1 2012年までに麻疹をゼロに！-地域、学校に おける麻疹(はしか)対策について- LS1 座長：富樫 武弘 演者：多屋 馨子 武田薬品工業(株)
第3会場 中ホールB					ランチョンセミナー2 日本の乳幼児の睡眠状況 ~国際比較調査の結果から~ LS2 座長：田中 肇 演者：神山 潤 ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
第4会場 104+105					
第5会場 107					
第6会場 小ホール					ランチョンセミナー3 小児気管支喘息の コントロール LS3 座長：宇加江 進 演者：西牟田敏之 グラクソ・スミスクライン(株)
第7会場 204					ランチョンセミナー4 RS ウイルス感染予防での 小児保健指導の重要性 LS4 座長：長谷川久弥 演者：中村 友彦 アボット ジャパン(株)
第8会場 206					
第9会場 207					

13:00 14:00 15:00 16:00 17:00

<p>招待講演1 野生の 友からの伝言 IL1 座長：藤枝 憲二 演者：竹田津 実</p>	<p>招待講演2 子育てにおける 動物園の役割 IL2 座長：堤 裕幸 演者：金澤 信治</p>	<p>特別講演 予防接種と 小児保健 座長：平山 宗宏 演者：神谷 齊</p>		
		<p>シンポジウム3 小児保健とプレパレクション ～子どもの力と共に～ S3-01～S3-05 座長：蝦名美智子・田中 恭子 演者：田中 恭子・早田 典子 清水 称喜・大内 一也 堀 浩樹</p>	<p>シンポジウム4 予防につながる傷害予防活動 ～発生数、重症度を計測する～ S4-01～S4-04 座長：五十嵐 隆・山中 龍宏 演者：西海 真理・西田 佳史 本村 陽一・掛札 逸美</p>	
<p>一般演題1 育児・保育： 周産期 O1-001～O1-006 座長：千田 勝一</p>	<p>一般演題2 育児・保育： 新生児・乳児 O1-007～O1-011 座長：中村 肇</p>	<p>一般演題3 育児・保育： 幼児 O1-012～O1-017 座長：上野美代子</p>	<p>一般演題4 育児・保育： 育児とストレス O1-018～O1-022 座長：二宮 恒夫</p>	
<p>一般演題5 育児・保育： 育児と仕事 O1-023～O1-026 座長：野口 恭子</p>	<p>一般演題6 育児・保育： 子育て支援1 O1-027～O1-032 座長：澤田いずみ</p>	<p>一般演題7 育児・保育： 子育て支援2 O1-033～O1-037 座長：中村由美子</p>	<p>一般演題8 育児・保育： 保育学生 O1-038～O1-042 座長：野原八千代</p>	
<p>一般演題9 小児医療： 看護1 O1-043～O1-047 座長：岡田 洋子</p>	<p>一般演題10 発育・発達： 健診 O1-048～O1-053 座長：加藤 則子</p>	<p>一般演題11 発育・発達： 健診方法 他 O1-054～O1-059 座長：笠置 綱清</p>	<p>一般演題12 発育・発達： 言語発達 O1-060～O1-064 座長：菅 和洋</p>	<p>会員 懇親会 18:30～</p>
<p>一般演題13 小児医療： 養育・医療支援 O1-065～O1-070 座長：日沼 千尋</p>	<p>一般演題14 小児医療： 行政・医療支援 O1-071～O1-076 座長：杉田 憲一</p>	<p>一般演題15 小児医療： 医療支援 O1-077～O1-081 座長：土屋 滋</p>	<p>一般演題16 小児医療： 病棟保育士 他 O1-082～O1-087 座長：原 純子</p>	
<p>一般演題17 精神保健： 被虐待1 O1-088～O1-092 座長：稲垣 由子</p>	<p>一般演題18 精神保健： 被虐待2 O1-093～O1-096 座長：立野 佳子</p>	<p>一般演題19 精神保健： 心身障害 他 O1-097～O1-101 座長：伊藤 淳一</p>	<p>一般演題20 新生児・未熟児 O1-102～O1-106 座長：後藤 彰子</p>	
<p>一般演題21 事故と救急1 O1-107～O1-111 座長：田中 哲郎</p>	<p>一般演題22 事故と救急2 O1-112～O1-117 座長：岡 敏明</p>	<p>一般演題23 生活習慣1 O1-118～O1-123 座長：山口規容子</p>	<p>一般演題24 生活習慣2 O1-124～O1-127 座長：二宮 啓子</p>	

日程表 第3日目 9月27日(土)

	9:00	10:00	11:00	12:00
第1会場 特別会議場				
第2会場 中ホールA		<p>一般演題25 育児・保育： 保育士・保育所 O2-001～O2-006 座長：草薙 美穂</p>	<p>一般演題26 育児・保育： 保育所・乳児院 O2-007～O2-012 座長：坂林 博子</p>	
第3会場 中ホールB		<p>一般演題29 育児・保育： 周産期子育て O2-025～O2-030 座長：佐藤 洋子</p>	<p>一般演題30 育児・保育： 病児と母親 O2-031～O2-036 座長：石井 榮一</p>	
第4会場 104+105		<p>一般演題33 小児医療： 療育・養育 O2-046～O2-051 座長：篠木 絵理</p>	<p>一般演題34 小児医療： 療育 他 O2-052～O2-057 座長：三池 輝久</p>	
第5会場 107		<p>一般演題37 発育・発達： 発達障害1 O2-069～O2-074 座長：岩永竜一郎</p>	<p>一般演題38 発育・発達： 発達障害2 O2-075～O2-079 座長：小枝 達也</p>	
第6会場 小ホール		<p>一般演題40 小児医療： プレバレーション O2-085～O2-091 座長：江本 リナ</p>	<p>一般演題41 小児医療： 呼吸器・在宅医療 O2-092～O2-097 座長：鈴木真知子</p>	
第7会場 204		<p>一般演題44 精神保健： 病児・障害児 O2-108～O2-113 座長：津川 敏</p>	<p>一般演題45 精神保健： 学校 O2-114～O2-119 座長：多米 豊</p>	
第8会場 206		<p>一般演題48 栄養 O2-132～O2-135 座長：有阪 治</p>	<p>一般演題49 生活習慣3 O2-136～O2-140 座長：西田 勝</p>	
第9会場 207		<p>一般演題52 感染症・予防接種： 感染症1 O2-149～O2-154 座長：脇口 宏</p>	<p>一般演題53 感染症・予防接種： 予防接種 O2-155～O2-160 座長：小田 慈</p>	

12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
	教育講演3 子どもの非行化予防に 役立つ社会性指導の実際 EL3 座長:氏家 武 演者:小栗 正幸	シンポジウム5 いじめ問題を巡って S5-01~S5-03 座長:松田 孝之・二宮 恒夫 演者:奥山真紀子・大道 和恵 手代木理子		
ランチョンセミナー5 乳幼児喘息治療の最前線 吸入ステロイド薬の位置付け LS5 座長:渡辺 徹 演者:山口 公一 アストラゼネカ(株)	一般演題27 育児・保育: 障害児 O2-013~O2-018 座長:荒木 暁子	一般演題28 育児・保育: 障害児・保育 O2-019~O2-024 座長:小谷 信行		
ランチョンセミナー6 AD/HDの理解と対応 LS6 座長:奥山真紀子 演者:宮本 信也 日本イーライリリー(株)	一般演題31 育児・保育: 子育て支援3 O2-037~O2-040 座長:榎木野裕美	一般演題32 育児・保育: 育児と家族 他 O2-041~O2-045 座長:伊藤 悦朗		
	一般演題35 小児医療: 医療・医療支援 O2-058~O2-064 座長:田中 義人	一般演題36 防煙 O2-065~O2-068 座長:原田 正平		
	一般演題39 発育・発達: 発達障害3 O2-080~O2-084 座長:沖 潤一			
	一般演題42 小児医療: 看護2 O2-098~O2-102 座長:松浦 和代	一般演題43 小児医療: 看護3 O2-103~O2-107 座長:内田 雅代		
ランチョンセミナー7 成長曲線を活用した 小児成長障害の診かた LS7 座長:母坪 智行 演者:依藤 亨 ノボ ノルディスク ファーマ(株)	一般演題46 学校保健1 O2-120~O2-125 座長:菊池 透	一般演題47 学校保健2 O2-126~O2-131 座長:山崎 嘉久		
	一般演題50 生活習慣4 O2-141~O2-144 座長:中村 伸枝	一般演題51 生活習慣5 O2-145~O2-148 座長:杉原 茂孝		
	一般演題54 感染症・予防接種: 感染症2 O2-161~O2-165 座長:根路銘安仁	一般演題55 喘息・アレルギー O2-166~O2-172 座長:渡辺 徹		

講演等一覧

会長講演

第2日目 9月26日(金) 10:30 - 11:00 第1会場

座長：五十嵐 隆 (Igarashi Takashi) 東京大学大学院 医学系研究科 生殖・発達・加齢医学専攻 小児医学講座

小児保健のこれから—社会の絆の質を問う—

衛藤 隆 (Eto Takashi) 東京大学大学院 教育学研究科 総合教育科学専攻 身体教育学コース 健康教育学分野

会頭講演

第2日目 9月26日(金) 10:00 - 10:30 第1会場

座長：有賀 正 (Ariga Tadashi) 北海道大学 医学部 小児科

感染免疫から見た、親と子、そして社会の絆

堤 裕幸 (Tsutsumi Hiroyuki) 札幌医科大学 医学部 小児科

招待講演 1 **IL1**

第2日目 9月26日(金) 13:00 - 13:40 第1会場

座長：藤枝 憲二 (Fujieda Kenji) 旭川医科大学 小児科学講座

野生の友からの伝言

竹田津 実 (Taketadu Minoru) 写真家、エッセイスト、獣医

招待講演 2 **IL2**

第2日目 9月26日(金) 13:45 - 14:25 第1会場

座長：堤 裕幸 (Tsutsumi Hiroyuki) 札幌医科大学 医学部 小児科

子育てにおける動物園の役割

金澤 信治 (Kanazawa Shinji) 札幌市 円山動物園

特別講演

第2日目 9月26日(金) 14:30 - 15:20 第1会場

座長：平山 宗宏 (Hirayama Munehiro) 社会福祉法人 恩賜財母子愛育会 日本子ども家庭総合研究所

予防接種と小児保健

神谷 齊 (Kamiya Hitoshi) 国立病院機構三重病院 名誉院長、三重県予防接種センター長

教育講演 1 **EL1**

第2日目 9月26日(金) 09:20 - 10:00 第1会場

座長：加藤 達夫 (Kato Tatsuo) 国立成育医療センター

感染症と小児保健 —学校や幼稚園・保育園における感染症への気配り—

岡部 信彦 (Okabe Nobuhiko) 国立感染症研究所感染症情報センター

教育講演 2 **EL2**

第2日目 9月26日(金) 09:20 - 10:00 第2会場

座長：長 和彦 (Cho Kazuhiko) 北海道立旭川肢体不自由児総合療育センター

アスペルガー症候群の理解と対応

宮本 信也 (Miyamoto Shinya) 筑波大学大学院 人間総合科学研究科

教育講演 3 **EL3**

第3日目 9月27日(土) 12:50 - 13:30 第1会場
座長：氏家 武 (Ujii Takeshi) 北海道こども心療内科氏家病院

子どもの非行化予防に役立つ社会性指導の実際
小栗 正幸 (Oguri Masayuki) 宮川医療少年院

シンポジウム 1 **S1** インターネットと子どものこころ (市民公開講座)

第1日目 9月25日(木) 14:00 - 15:30 第1会場
座長：沖 潤一 (Oki Junichi) 旭川厚生病院 小児科
林 隆 (Hayashi Takashi) 山口県立大学 看護栄養学部 看護学科

インターネットの悪用および悪影響問題
坂元 章 (Sakamoto Akira) お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科

インターネットと子どものこころの発達：事例から学ぶこと
氏家 武 (Ujii Takeshi) 北海道こども心療内科氏家医院

インターネットと心の支援
田村 毅 (Tamura Takeshi) 東京学芸大学 教育学部

シンポジウム 2 **S2** 小児のメタボリックシンドローム (市民公開講座)

第1日目 9月25日(木) 15:30 - 17:30 第1会場
座長：松浦 信夫 (Matsuura Nobuo) 聖徳大学 人文学部 児童学科
伊藤 善也 (Ito Yoshiya) 日本赤十字北海道看護大学 基礎科学講座

「味覚教育の活動」について
三國 清三 (Mikuni Kiyomi) 株式会社 ソシエテミックニ

**メタボリックシンドローム予防と食育
～楽しく学びながらライフスタイルの変容をめざすには～**
永井 成美 (Nagai Narumi) 岡山県立大学 保健福祉学部 栄養学科

小児のメタボリックシンドロームに対する外来治療の試み
小池 明美 (Koike Akemi) 医療法人 宮の沢小池こどもクリニック

小児科医としてメタボリックシンドロームを考える
菊池 透 (Kikuchi Toru) 新潟大学 医歯学総合病院 小児科

シンポジウム 3 **S3** 小児保健とプレパレクション～子どもの力と共に～

第2日目 9月26日(金) 14:00 - 15:30 第2会場
座長：蝦名美智子 (Ebina Michiko) 札幌医科大学 保健医療学部 看護学科
田中 恭子 (Tanaka Kyoko) 順天堂大学 医学部 小児科・思春期科学教室

プレパレクションの5段階
田中 恭子 (Tanaka Kyoko) 順天堂大学 医学部 小児科・思春期科学教室

順天堂大学における「入院生活プリパレクション」の取り組み
早田 典子 (Hayata Noriko) 順天堂大学 医学部 小児科・思春期科

小児救急におけるプレパレクション—子どもの頑張る力を引き出す関わり—
清水 称喜 (Shimizu Shoki) 兵庫県立こども病院 小児救急医療センター

レントゲン撮影において子どもの「やる気」を引き出すプレパレクションを目指す
大内 一也 (Ouchi Kazuya) 東京都立八王子小児病院 薬剤検査科放射線担当

子どもへの病気の説明 —白血病・小児がんの場合
堀 浩樹 (Hori Hiroki) 三重大学大学院 医学系研究科 病態解明医学講座 小児発達医学分野

シンポジウム 4 **S4** 予防につながる傷害予防活動－発生数、重症度を計測する－

第2日目 9月26日(金) 15:30 - 17:00 第2会場

座長：五十嵐 隆 (Igarashi Takashi) 東京大学大学院 医学系研究科 生殖・発達・加齢医学専攻 小児医学講座
山中 龍宏 (Yamanaka Tatsuhiko) 緑園こどもクリニック

子どもの傷害予防対策につなげる 医療機関での傷害情報収集

西海 真理 (Nishiumi Mari) 国立成育医療センター

傷害データを加工する

西田 佳史 (Nishida Yoshifumi) 産業技術総合研究所 デジタルヒューマン研究センター

傷害データからの推論技術

本村 陽一 (Motomura Yoichi) 産業技術総合研究所 デジタルヒューマン研究センター

傷害予防「教育」に効果はあるか？

掛札 逸美 (Kakefuda Itsumi) 産業技術総合研究所 デジタルヒューマン研究センター

シンポジウム 5 **S5** いじめ問題を巡って

第3日目 9月27日(土) 13:30 - 15:00 第1会場

座長：松田 孝之 (Matsuda Takayuki) 北海道こども心療内科氏家医院
二宮 恒夫 (Ninomiya Tsuneo) 徳島大学 医学部 保健学科 看護学専攻 母性・小児看護学講座

いじめ介入への医療の支援 ～被害児・加害児の治療と和解のプロセス～

奥山眞紀子 (Okuyama Makiko) 国立成育医療センター こころの診療部

いじめへの対応と校内連携

大道 和恵 (Oomichi Kazue) 札幌市立宮の森中学校

"いじめられ体験"の反応と回復過程

手代木理子 (Teshirogi Riko) 札幌医科大学附属病院

ランチョンセミナー

ランチョンセミナー 1 **LS1**

第2日目 9月26日(金) 12:00 - 12:50 第2会場

座長：富樫 武弘 (Togashi Takehiro) 札幌市立大学 看護学部

2012年までに麻疹をゼロに！—地域、学校における麻疹(はしか)対策について—

多屋 馨子 (Taya Keiko) 国立感染症研究所感染症情報センター

共催：武田薬品工業株式会社

ランチョンセミナー 2 **LS2**

第2日目 9月26日(金) 12:00 - 12:50 第3会場

座長：田中 肇 (Tanaka Hajime) 旭川医科大学 小児科学講座

日本の乳幼児の睡眠状況 ～国際比較調査の結果から～

神山 潤 (Kohyama Jun) 東京北社会保険病院

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

ランチョンセミナー 3 **LS3**

第2日目 9月26日(金) 12:00 - 12:50 第6会場

座長：宇加江 進 (Ukae Susumu) 元町こどもクリニック

小児気管支喘息のコントロール

西牟田敏之 (Nishimuta Toshiyuki) 国立病院機構下志津病院

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

ランチョンセミナー 4 **LS4**

第2日目 9月26日(金) 12:00 - 12:50 第7会場

座長：長谷川久弥 (Hasegawa Hisaya) 松戸市立病院小児医療センター 新生児科

RS ウイルス感染予防での小児保健指導の重要性

中村 友彦 (Nakamura Tomohiko) 長野県立こども病院 総合周産期母子医療センター 新生児科

共催：アボット ジャパン株式会社

ランチョンセミナー 5 **LS5**

第3日目 9月27日(土) 12:00 - 12:50 第2会場

座長：渡辺 徹 (Watanabe Toru) わたなべ小児科・アレルギー科クリニック

乳幼児喘息治療の最前線 吸入ステロイド薬の位置付け

山口 公一 (Yamaguchi Koichi) 同愛記念病院 小児科

共催：アストラゼネカ株式会社

ランチョンセミナー 6 **LS6**

第3日目 9月27日(土) 12:00 - 12:50 第3会場

座長：奥山眞紀子 (Okuyama Makiko) 国立成育医療センター こころの診療部

AD/HD の理解と対応

宮本 信也 (Miyamoto Shinya) 筑波大学大学院 人間総合科学研究科

共催：日本イーライリリー株式会社

ランチョンセミナー 7 **LS7**

第3日目 9月27日(土) 12:00 - 12:50 第7会場

座長：母坪 智行 (Hotsubo Tomoyuki) NTT 東日本札幌病院 小児科

成長曲線を活用した小児成長障害の診かた

依藤 亨 (Yorifuji Toru) 京都大学 医学部附属病院 小児科

共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

第1会場

シンポジウム1

インターネットと子どものこころ (市民公開講座)

▶ 14:00 - 15:30

座長：沖 潤一 (Oki Junichi) 旭川厚生病院 小児科
林 隆 (Hayashi Takashi) 山口県立大学 看護栄養学部 看護学科

S1-01 インターネットの悪用および悪影響問題

坂元 章 (Sakamoto Akira)
お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科

S1-02 インターネットと子どものこころの発達：事例から学ぶこと

氏家 武 (Ujii Takeshi)
北海道こども心療内科氏家医院

S1-03 インターネットと心の支援

田村 毅 (Tamura Takeshi)
東京学芸大学 教育学部

シンポジウム2

小児のメタボリックシンドローム (市民公開講座)

▶ 15:30 - 17:30

座長：松浦 信夫 (Matsuura Nobuo) 聖徳大学 人文学部 児童学科
伊藤 善也 (Ito Yoshiya) 日本赤十字北海道看護大学 基礎科学講座

S2-01 「味覚教育の活動」について

三國 清三 (Mikuni Kiyomi)
株式会社 ソシエテミックニ

S2-02 メタボリックシンドローム予防と食育 ～楽しく学びながらライフスタイルの変容をめざすには～

永井 成美 (Nagai Narumi)
岡山県立大学 保健福祉学部 栄養学科

S2-03 小児のメタボリックシンドロームに対する外来治療の試み

小池 明美 (Koike Akemi)
医療法人 宮の沢小池こどもクリニック

S2-04 小児科医としてメタボリックシンドロームを考える

菊池 透 (Kikuchi Toru)
新潟大学 医歯学総合病院 小児科

第2日目 9月26日(金)

第1会場

教育講演 1

▶ 09:20 - 10:00

座長：加藤 達夫 (Kato Tatsuo) 国立成育医療センター

EL1

感染症と小児保健 —学校や幼稚園・保育園における感染症への気配り—

岡部 信彦 (Okabe Nobuhiko)

国立感染症研究所感染症情報センター

会頭講演

▶ 10:00 - 10:30

座長：有賀 正 (Ariga Tadashi) 北海道大学 医学部 小児科

感染免疫から見た、親と子、そして社会の絆

堤 裕幸 (Tsumumi Hiroyuki)

札幌医科大学 医学部 小児科

会長講演

▶ 10:30 - 11:00

座長：五十嵐 隆 (Igarashi Takashi)

東京大学大学院 医学系研究科 生殖・発達・加齢医学専攻 小児医学講座

小児保健のこれから—社会の絆の質を問う—

衛藤 隆 (Eto Takashi)

東京大学大学院 教育学研究科 総合教育科学専攻 身体教育学コース 健康教育学分野

総会

▶ 11:00 - 12:00

招待講演 1

▶ 13:00 - 13:40

座長：藤枝 憲二 (Fujieda Kenji) 旭川医科大学 小児科学講座

IL1

野生の友からの伝言

竹田津 実 (Taketadu Minoru)

写真家、エッセイスト、獣医

招待講演 2

▶ 13:45 - 14:25

座長：堤 裕幸 (Tsumumi Hiroyuki) 札幌医科大学 医学部 小児科

IL2

子育てにおける動物園の役割

金澤 信治 (Kanazawa Shinji)

札幌市 円山動物園

特別講演

▶ 14:30 - 15:20

座長：平山 宗宏 (Hirayama Munehiro)

社会福祉法人 恩賜財母子愛育会 日本子ども家庭総合研究所

予防接種と小児保健

神谷 齊 (Kamiya Hitoshi)

国立病院機構三重病院 名誉院長、三重県予防接種センター長

第2会場

教育講演 2

▶ 09:20 - 10:00

座長：長 和彦 (Cho Kazuhiko) 北海道立旭川肢体不自由児総合療育センター

EL2

アスペルガー症候群の理解と対応

宮本 信也 (Miyamoto Shinya)

筑波大学大学院 人間総合科学研究科

ランチョンセミナー 1

▶ 12:00 - 12:50

座長：富樫 武弘 (Togashi Takehiro) 札幌市立大学 看護学部

LS1

2012年までに麻疹をゼロに！一地域、学校における麻疹(はしか)対策について—

多屋 馨子 (Taya Keiko)

国立感染症研究所感染症情報センター

共催：武田薬品工業株式会社

シンポジウム 3

▶ 14:00 - 15:30

小児保健とプレパレクション～子どもの力と共に～

座長：蝦名美智子 (Ebina Michiko) 札幌医科大学 保健医療学部 看護学科

田中 恭子 (Tanaka Kyoko) 順天堂大学 医学部 小児科・思春期科学教室

S3-01

プレパレクションの5段階

田中 恭子 (Tanaka Kyoko)

順天堂大学 医学部 小児科・思春期科学教室

S3-02

順天堂大学における「入院生活プリパレクション」の取り組み

早田 典子 (Hayata Noriko)

順天堂大学 医学部 小児科・思春期科

S3-03

小児救急におけるプレパレクション—子どもの頑張る力を引き出す関わり—

清水 称喜 (Shimizu Shoki)

兵庫県立こども病院 小児救急医療センター

S3-04

レントゲン撮影において子どもの「やる気」を引き出すプレパレクションを目指す

大内 一也 (Ouchi Kazuya)

東京都立八王子小児病院 薬剤検査科放射線担当

S3-05

子どもへの病気の説明—白血病・小児がんの場合

堀 浩樹 (Hori Hiroki)

三重大学大学院 医学系研究科 病態解明医学講座 小児発達医学分野

第2日目 9月26日(金)

シンポジウム4

予防につながる傷害予防活動－発生数、重症度を計測する－

▶ 15:30 - 17:00

座長：五十嵐 隆 (Igarashi Takashi)
東京大学大学院 医学系研究科 生殖・発達・加齢医学専攻 小児医学講座
山中 龍宏 (Yamanaka Tatsuhiko) 緑園こどもクリニック

S4-01 子どもの傷害予防対策につなげる 医療機関での傷害情報収集

西海 真理 (Nishiumi Mari)
国立成育医療センター

S4-02 傷害データを加工する

西田 佳史 (Nishida Yoshifumi)
産業技術総合研究所 デジタルヒューマン研究センター

S4-03 傷害データからの推論技術

本村 陽一 (Motomura Yoichi)
産業技術総合研究所 デジタルヒューマン研究センター

S4-04 傷害予防「教育」に効果はあるか？

掛札 逸美 (Kakefuda Itsumi)
産業技術総合研究所 デジタルヒューマン研究センター

第3会場

ランチョンセミナー 2

▶ 12:00 - 12:50

座長：田中 肇 (Tanaka Hajime) 旭川医科大学 小児科学講座

LS2

日本の乳幼児の睡眠状況 ～国際比較調査の結果から～

神山 潤 (Kohyama Jun)

東京北社会保険病院

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

一般演題 1

▶ 13:00 - 14:00

座長：千田 勝一 (Chida Shoichi) 岩手医科大学 小児科

O1-001

NICU 入院児やフォローアップ外来における「WEB 親子健康手帳すくすく」の活用

大久保賢介 (Okubo Kensuke)

香川大学 医学部 小児科

O1-002

周産期センターにおけるハイリスク児退院時のチャイルドシートチェック

市川 知則 (Ichikawa Tomonori)

さいたま市立病院

O1-003

周産期における継続した育児支援～妊婦及び乳児の親支援プログラムの提案～

岡 居久代 (Oka Ikuyo)

白鳳女子短期大学 総合人間学科 看護学専攻

O1-004

赤ちゃんに優しい病院での産後 1 月での母乳育児率に影響する因子についての検討

堀内 勁 (Horiuchi Takeshi)

聖マリアンナ医科大学 小児科学教室

O1-005

妊娠中に大切にしたい母体環境を考える：胎児発育の観点より

全 有耳 (Zen Yui)

京都府中丹西保健所

O1-006

助産師の言葉が産婦に与える影響

板橋 美沙 (Itabashi Misa)

北海道大学 医学部 保健学科 看護学専攻 第一期生

一般演題 2

▶ 14:00 - 15:00

座長：中村 肇 (Nakamura Hajime) 兵庫県立こども病院

O1-007

新生児室における経皮ビリルビン濃度測定器についての検討

板倉 敬乃 (Itakura Yukino)

国際医療福祉大学 熱海病院

O1-008

家庭での動画が診断に有用であった新生児けいれん様運動の 2 例

土岐真智子 (Toki Machiko)

伊勢原協同病院 小児科

O1-009

4、9、18 ヲ月の 3 時点における子どもの総合発達に影響を与える要因

成 順月 (Cheng Shunyue)

科学技術振興機構 社会技術研究開発センター

O1-010

乳児期早期の肥満は良性肥満か？

橋本 令子 (Hashimoto Reiko)

和洋女子大学 生活科学系

O1-011 幼児の重心動揺量の実態

鈴木 順子 (Suzuki Junko)

拓殖大学 第一高等学校、杏林大学 保健学部 母子保健・社会福祉学教室

一般演題 3

育児・保育：幼児

▶ 15:00 - 16:00

座長：上野美代子 (Ueno Miyoko) 名寄市立大学 保健福祉学部 看護学科

O1-012 乳幼児を持つ母親の生活満足度と精神健康状態との関連

及川 裕子 (Oikawa Yuko)

近大姫路大学

O1-013 乳児を持つ母親の子どもの睡眠に関する実態調査

岩淵 光子 (Iwabuchi Mitsuko)

岩手県立大学 看護学部

O1-014 子どもの就寝時間に影響を与える要因

沼口知恵子 (Numaguchi Chieko)

茨城県立医療大学 保健医療学部 看護学科

O1-015 保育所に在籍する子どもの生活習慣についての調査研究

宮地 知美 (Miyachi Tomomi)

奈良教育大学大学院 教育学研究科

O1-016 乳幼児の四季の汗に関する実態調査

杉浦 弘子 (Sugiura Hiroko)

花王株式会社 ヒューマンヘルスケア事業ユニット サニタリー事業グループ

O1-017 現代の子どもの描画発達についての研究
—グッドイナフ人物画知能検査による保育園幼児の検討—

石田佐枝美 (Ishida Saemi)

奈良東養護学校

一般演題 4

育児・保育：育児とストレス

▶ 16:00 - 17:00

座長：二宮 恒夫 (Ninomiya Tsuneo)

徳島大学 医学部 保健学科 看護学専攻 母性・小児看護学講座

O1-018 乳幼児を持つ親の育児ストレスに関連する要因

久保 恭子 (Kubo Kyoko)

埼玉医科大学 保健医療学部 看護学科

O1-019 子育て中の母親の心身疲労と子どもに対する認知に関する研究

奥富 庸一 (Okutomi Yoichi)

早稲田大学 人間科学学術院

O1-020 幼児をもつ母親の抑うつと対人関係の認知および養育態度との関連

松野郷有実子 (Matsunogo Yumiko)

旭川市保健所

O1-021 子ども虐待の不安を抱える母親がグループ参加によって得られた変化

頭川 典子 (Zukawa Noriko)

埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科

O1-022 女性の思う「子どもの意味」と属性との関連

武田江里子 (Takeda Eriko)

山梨大学大学院 博士課程

第4会場

一般演題 5

▶ 13:00 - 14:00

育児・保育：育児と仕事

座長：野口 恭子 (Noguchi Kyoko) 岩手県立大学 看護学部

O1-023 母子保健情報の収集と利活用に有用なツールの開発

田中太一郎 (Tanaka Taichiro)
山梨大学 医学部 社会医学講座

O1-024 電話相談と夜間・休日受診の状況から考える働く母親への子育て支援

伊藤 良子 (Itoh Ryouko)
旭川大学 保健福祉学部 保健看護学科

O1-025 育児と仕事の両立に関する研究—育児と仕事の QOL の視点から—

林田 りか (Hayashida Rika)
長崎県立大学シーボルト校 看護栄養学部 看護学科

O1-026 育児における将来見通しの不確かさ

中島登美子 (Nakajima Tomiko)
静岡県立大学 看護学部

一般演題 6

▶ 14:00 - 15:00

育児・保育：子育て支援 1

座長：澤田いずみ (Sawada Izumi) 札幌医科大学 保健医療学部 看護学科

O1-027 生後4か月までの全戸訪問事業取り組みに関する実態調査結果について

中村 敬 (Nakamura Takashi)
大正大学 人間学部 社会福祉学専攻

O1-028 青森県における小学生をもつ家族の子育ての実態 第1報
家族が子どもとふれあう時間と食卓の環境について

内城 絵美 (Naijo Emi)
青森県立保健大学 健康科学部 看護学科

O1-029 青森県における小学生をもつ家族の子育ての実態 第2報
子育ての悩みや不安について

扇野 綾子 (Ohgino Ayako)
弘前大学大学院 保健学研究科

O1-030 石川県における「マイ保育園制度」を中心とした子育て支援の検討 (第1報)

高田 敦子 (Takata Atsuko)
金沢大学 医学部 保健学科

O1-031 石川県における「マイ保育園制度」を中心とした子育て支援の検討 (第2報)

笛吹 智美 (Usui Tomomi)
金沢大学 医学部 保健学科

O1-032 川崎市におけるグループトリプルPの取り組み

益子 まり (Mashiko Mari)
川崎市 川崎区役所 保健福祉センター

第2日目 9月26日(金)

一般演題 7

育児・保育：子育て支援 2

▶ 15:00 - 16:00

座長：中村由美子 (Nakamura Yumiko)
公立大学法人青森県立保健大学 健康科学部 看護学科

01-033 幼児をもつ母親の育児行動に対する自己効力感の検討
—1歳半児健診群と3歳児健診群の比較から—

吉川由希子 (Yoshikawa Yukiko)
札幌市立大学 看護学部

01-034 京都大学女性研究者支援センター病児保育室の活動状況と果たした役割について

野間 久史 (Noma Hisashi)
京都大学大学院 医学研究科医療統計学、京都大学 女性研究者支援センター

01-035 子育て支援センターを利用した幼児をもつ母親の健康・生活習慣への関心を高める看護活動

中村 伸枝 (Nakamura Nobue)
千葉大学 看護学部

01-036 子育て支援における母親クラブの役割に関する研究 (1)
—母親クラブの活動実態調査から—

斉藤 進 (Saito Susumu)
日本子ども家庭総合研究所

01-037 1歳6か月児健康診査に保育士を配置して

野呂小百合 (Noro Sayuri)
大館市市民部健康推進課

一般演題 8

育児・保育：保育学生

▶ 16:00 - 17:00

座長：野原八千代 (Nohara Yachiyo) 聖徳大学短期大学部 保育科

01-038 保育学生によるタッチケアの試み

七木田方美 (Nanakida Masami)
比治山大学短期大学部 幼児教育科

01-039 保育学生の乳児接触体験と対児感情

小柳 康子 (Koyanagi Yasuko)
中村学園大学短期大学部 幼児保育学科

01-040 保育園実習前後における学生の子どもイメージの変化

藤沼小智子 (Fujinuma Sachiko)
共立女子短期大学

01-041 保育系短期大学学生の乳児保育に関する学習ニーズの分析 (第1報)

澤田 由美 (Sawada Yumi)
山梨学院短期大学 保育科

01-042 保育系短期大学学生の乳児保育に関する学習ニーズの分析 (第2報)

澤田 孝二 (Sawada Kouji)
山梨学院短期大学 保育科

第5会場

一般演題 9

▶ 13:00 - 14:00

小児医療：看護 1

座長：岡田 洋子 (Okada Yoko) 旭川医科大学 医学部 看護学科

O1-043 口唇裂学童児の自己評価と自尊心—保護者からの評価と養育態度との関係—

石見 和世 (Iwami Kazuyo)
大阪府立母子保健総合医療センター

O1-044 慢性腎疾患をもつ子どもの思春期におけるセルフマネジメント

野間口千香穂 (Nomaguchi Chikaho)
宮崎大学 医学部 看護学科

O1-045 思春期の1型糖尿病患児のジェンダー間の差による心理特性とセルフケアの特徴～3症例による検討～

中嶋 一恵 (Nakashima Kazue)
筑波大学大学院 人間総合科学研究科 ヒューマン・ケア科学専攻

O1-046 成人先天性心疾患患者の心理的問題 SF-36 と面接調査より —第2報—

白井 丈晶 (Shirai Takeaki)
千葉県循環器病センター 小児科 成人先天性心疾患診療部

O1-047 先天性心疾患をもちキャリアオーバーした女性の結婚・妊娠・出産に対する思い

宮田 純 (Miyata Jun)
国立成育医療センター

一般演題 10

▶ 14:00 - 15:00

発育・発達：健診

座長：加藤 則子 (Kato Noriko) 国立保健医療科学院 生涯保健部

O1-048 医療機関における乳幼児健康診査のあり方—医療機関と保健所での健診受診者の評価と比較—

白水 美保 (Shiramizu Miho)
鹿児島大学 医学部 保健学科

O1-049 乳幼児健診の土曜・休日実施に関する調査

齋藤 幸子 (Saito Sachiko)
日本子ども家庭総合研究所

O1-050 5歳児健診の実施と支援体制についての一考察

竹内 恵子 (Takeuchi Keiko)
にかほ市役所 健康推進課

O1-051 乳幼児健診における発達課題の判定に関する検討 ～年齢に伴う変化に着目して～

山崎 嘉久 (Yamazaki Yoshihisa)
あいち小児保健医療総合センター総合診療部

O1-052 乳幼児健診における身体計測値のグラフ化による健康管理の提案—「発育グラフソフト」を利用して—

小林 正子 (Kobayashi Masako)
女子栄養大学 保健栄養学科

O1-053 学校定期健康診断時の身長と体重の計測値を用いた身長と体重の成長曲線に基づく健康管理について

村田 光範 (Murata Mitsunori)
和洋女子大学 生活科学系

第2日目 9月26日(金)

一般演題 11

発育・発達：健診方法 他

▶ 15:00 - 16:00

座長：笠置 綱清 (Kasagi Tsunakiyo) YMCA 米子医療福祉専門学校

01-054

乳幼児健診のガイドライン(案)の検討について
—「新しい時代に即応した乳幼児健診システムに関する研究」報告—

益邑 千草 (Masumura Chigusa)

日本子ども家庭総合研究所 母子保健研究部

01-055

1歳6ヶ月～2歳児の行動観察のためのDVDの作成

石岡 由紀 (Ishioka Yuki)

神戸親和女子大学 発達教育学部 福祉臨床学科、神戸大学 医学部 保健学科

01-056

「育てにくさ」に寄り添うために—第3報—

大塚ゆり子 (Otsuka Yuriko)

(社)三鷹市医師会

01-057

育児不安・虐待予防、及び、親子の心の健康への対応を視野に置いた、乳幼児健診における問診票の工夫について—全国調査から—

吉田 弘道 (Yoshida Hiromichi)

専修大学 文学部

01-058

尿中硫酸抱合型胆汁酸(USBA)の測定による先天性胆道閉鎖症スクリーニング～採尿法の検討

太田 國隆 (Ota Kunitaka)

六甲アイランド病院小児科

01-059

小児の鼻中隔彎曲と歯ならび

小田 博雄 (Oda Hiroo)

神奈川歯科大学附属横浜研修センター 臨床歯科学系総合歯科学講座

一般演題 12

発育・発達：言語発達

▶ 16:00 - 17:00

座長：菅 和洋 (Suga Kazuhiro) 札幌市発達医療センター

01-060

極低出生体重児の言語発達に関する検討

牧本 優美 (Makimoto Masami)

日本大学 医学部 小児科学系小児科学分野

01-061

発達性読字障害の早期発見と診断に関する研究

小枝 達也 (Koeda Tatsuya)

鳥取大学 地域学部 地域教育学科

01-062

読字障害のある子どもの診断と支援—中学生の事例を通して—

久保由美子 (Kubo Yumiko)

愛媛県発達障害者支援センター

01-063

テレビ・ビデオの内容特性と乳幼児の言語発達の遅れとの関連性

大熊加奈子 (Okuma Kanako)

国立成育医療センター研究所 成育社会医学研究部

01-064

テレビ・ビデオ長時間視聴と言語発達の遅れとの因果関係

谷村 雅子 (Tanimura Masako)

国立成育医療センター研究所 成育社会医学研究部

第6会場

ランチョンセミナー 3

▶ 12:00 - 12:50

座長：宇加江 進 (Ukae Susumu) 元町こどもクリニック

LS3

小児気管支喘息のコントロール

西牟田敏之 (Nishimuta Toshiyuki)

国立病院機構下志津病院

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

一般演題 13

▶ 13:00 - 14:00

座長：日沼 千尋 (Hinuma Chihiro) 東京女子医科大学 看護学部 看護学科 小児看護学

O1-065

気管支喘息の子どもを持つ母親の認識と対処行動について

山城 香 (Yamashiro Kaori)

琉球大学 医学部附属病院

O1-066

幼稚園児の保護者に対する小児救急パンフレット配布の効果

丹 佳子 (Tan Yoshiko)

山口県立大学 看護栄養学部 看護学科

O1-067

小児プライマリ・ケアにおける保護者の医療機関の選択プロセス

涌水 理恵 (Wakimizu Rie)

筑波大学大学院 人間総合科学研究科

O1-068

子どもの病気に関するインターネットを利用した情報提供 —情報提供を受ける側との協働作業—

原田 正平 (Harada Shohei)

国立成育医療センター 成育政策科学研究部

O1-069

救急外来における電話相談の検討—電話を受ける看護師の困難感—

村松 久江 (Muramatsu Hisae)

東京慈恵会医科大学 医学部 看護学科

O1-070

当院小児科入院患者における「かかりつけ医」の有無についての調査

多賀 俊明 (Taga Toshiaki)

市立長浜病院 小児科

一般演題 14

▶ 14:00 - 15:00

座長：杉田 憲一 (Sugita Kenichi) 獨協医科大学 小児科

O1-071

難病児の電話相談 20年の推移を振り返る

橋本 玲子 (Hashimoto Reiko)

難病のこども支援全国ネットワーク

O1-072

過疎地域における小児医療と療育機関および福祉とのネットワーク形成 —発達障害児に対する多方面の連携—

福重 寿郎 (Fukushige Toshirou)

鹿児島県立北薩病院 小児科

O1-073 鹿児島県離島における小児の保健・医療の現状

根路銘安仁 (Nerome Yasuhito)

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 離島へき地医療人育成センター、
鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 小児発達機能病態分野

O1-074 和歌山県立医科大学 小児成育医療支援室開設 2 年間の経過と現状

坪倉 佳澄 (Tsubokura Kasumi)

和歌山県立医科大学 小児成育医療支援室

O1-075 子ども病院を拠点としたピアサポート活動

福島 慎吾 (Fukushima Shingo)

難病のこども支援全国ネットワーク

O1-076 愛知県における NICU 長期入院児の現況

鬼頭 修 (Kito Osamu)

名古屋第一赤十字病院 小児科

一般演題 15

小児医療：医療支援

▶ 15:00 - 16:00

座長：土屋 滋 (Tsuchiya Shigeru) 東北大学大学院 医学系研究科 小児病態学分野

**O1-077 当外来におけるディストラクションの実際
—フレーザー吸入および処置中 DVD 鑑賞の導入—**

田中真紀子 (Tanaka Makiko)

ふえふぎこどもクリニック

O1-078 もぐもぐ外来（摂食評価外来）での心理の役割

成田 有里 (Narita Yuri)

埼玉県立小児医療センター 保健発達部 心理

O1-079 唾液バイオマーカーを用いた入院児におけるストレス評価に関する検討

下村有紀子 (Shimomura Yukiko)

筑波大学大学院 人間総合科学研究科 (障害科学)

O1-080 新生児マススクリーニング以外で発見された対象疾患児に関する研究

加藤 忠明 (Kato Tadaaki)

国立成育医療センター 成育政策科学研究部

O1-081 Hospital Play の効果に関する研究—Play の意味と概念の整理を通して—

松平 千佳 (Matsudaira Chika)

静岡県立大学短期大学部 社会福祉学科

一般演題 16

小児医療：病棟保育士 他

▶ 16:00 - 17:00

座長：原 純子 (Hara Junko) 京都女子大学大学院 発達教育学研究科

O1-082 小児看護を実践する男性看護師が認識している役割

田中 章敬 (Tanaka Akitaka)

国立がんセンター東病院

O1-083 小児看護学実習における受け持ち患者の付添者に対する学生の思い

野村 友美 (Nomura Tomomi)

山口大学 医学部附属病院

O1-084 保育学生・看護学生における病棟保育認知調査

福澤 悠子 (Fukuzawa Yuko)

白百合女子大学 文学部 児童文化学科 発達心理学専攻

01-085

保育士とCLSとの協働

花谷 香織 (Hanatani Kaori)

地方独立行政法人宮城県立こども病院 成育支援局

01-086

小児病棟における保育士の実践報告

赤津 美雪 (Akatsu Miyuki)

日本赤十字社医療センター 小児病棟

01-087

小児科病棟における病棟保育士の役割と必要性

～秋田組合総合病院における病棟保育士の活動とこれから～

伊藤 麻美 (Itou Mami)

秋田組合総合病院 小児科病棟

第7会場

ランチョンセミナー4

▶ 12:00 - 12:50

座長：長谷川久弥 (Hasegawa Hisaya) 松戸市立病院小児医療センター 新生児科

LS4

RS ウイルス感染予防での小児保健指導の重要性

中村 友彦 (Nakamura Tomohiko)

長野県立こども病院 総合周産期母子医療センター 新生児科

共催：アボット ジャパン株式会社

一般演題 17

▶ 13:00 - 14:00

座長：稲垣 由子 (Inagaki Yoshiko) 甲南女子大学 人間科学部 総合子ども学科

O1-088

ネグレクトをうけ、その後拒食症を合併した高校受験を控えた女児の一例

岡本 博之 (Okamoto Hiroyuki)

木沢記念病院 小児科

O1-089

代理人によるミュンヒハウゼン症候群 (MSbP : Munchhausen's Syndrome by Proxy) を経験して得られた教訓

田島 剛 (Tajima Takeshi)

博慈会記念総合病院 小児科

O1-090

被虐待児を疑われた症例に対する当病院での取り組みについて

中村 浩章 (Nakamura Hiroaki)

東邦大学 医療センター大橋病院 小児科

O1-091

保健所・保健センターおよび歯科診療所の歯科医療職における児童虐待への意識・対応に関する調査

室賀 麗 (Muroga Rei)

東京医科歯科大学 歯学部 口腔保健学科 口腔保健衛生基礎学分野

O1-092

地域の一般病院小児科における児童虐待

工藤 充哉 (Kudo Michiya)

大崎市民病院

一般演題 18

▶ 14:00 - 15:00

座長：立野 佳子 (Tateno Yoshiko) 札幌市東保健センター 札幌市東区保健福祉部

O1-093

2か月親子講習会の虐待予防における効果～概ね2歳までの検討～

佐藤 拓代 (Sato Takuyo)

東大阪市保健所

O1-094

児童虐待における保健機関と児童相談所の連携について

峯川 章子 (Minekawa Akiko)

大阪府吹田保健所

O1-095

保護者から不適切な養育(虐待)を受けている学齢児童に関する研究—第2報 兵庫県小学校における教諭の虐待認識と対応システム—

福岡 淑子 (Fukuoka Toshiko)

兵庫県立神戸特別支援学校

01-096 児童虐待に対する看護学生の意識

徳野亜友美 (Tokuno Ayumi)
山口大学 医学部附属病院

一般演題 19

精神保健：心身障害 他

▶ 15:00 - 16:00

座長：伊藤 淳一 (Ito Junichi)
北海道社会福祉事業団太陽の園診療所・発達援助センター

01-097 軽度発達障害におけるいじめの影響

脇口 明子 (Wakiguchi Akiko)
高知大学 医学部 小児思春期医学、細木病院小児科

01-098 特別支援学校（肢体不自由）の健康に関する調査について

芝原美由紀 (Shibahara Miyuki)
豊橋創造大学 リハビリテーション学部

01-099 子どもの心の診療システムにおける小児総合医療施設の役割
～実態調査および研修実施より～

奥山眞紀子 (Okuyama Makiko)
国立成育医療センター

01-100 小学生をもつ親が子どもと「死を語る」ことに関する意識と実態

荃津 智子 (Kukitsu Tomoko)
天使大学 看護栄養学部 看護学科

01-101 身近な人と死別した子どもをもつ親が子どもと「死を語る」ことの意識と実態

井上由紀子 (Inoue Yukiko)
日本赤十字北海道看護大学

一般演題 20

新生児・未熟児

▶ 16:00 - 17:00

座長：後藤 彰子 (Goto Akiko) 神奈川県立こども医療センター

01-102 NICU において長期入院に至った子どもの要因分析

渡邊 絢子 (Watanabe Ayako)
岐阜県総合医療センター

01-103 超低出生体重児のフォローアップ 第1報
—大阪府立母子保健総合医療センターの発達外来の紹介—

平野 慎也 (Hirano Shinya)
大阪府立母子保健総合医療センター

01-104 超低出生体重児のフォローアップ 第2報
—発達・行動面の気になる問題—

村田 雅子 (Murata Masako)
大阪府立母子保健総合医療センター 発達小児科

01-105 超低出生体重児のフォローアップ 第3報
—養育問題について—

山下 典子 (Yamashita Noriko)
大阪府立母子保健総合医療センター 企画調査部 地域保健室

01-106 超低出生体重児のフォローアップ 第4報
—'98、'99 出生児の学齢期検診結果から—

平野 慎也 (Hirano Shinya)
大阪府立母子保健総合医療センター

第9会場

一般演題 21

事故と救急 1

▶ 13:00 - 14:00

座長：田中 哲郎 (Tanaka Tetsuro) 長野県立こども病院

O1-107 1歳児を持つ母親の過去の事故経験に基づく再発予防行動の特徴

松永 侑美 (Matsunaga Yumi)

元 名古屋大学大学院 医学系研究科

O1-108 リチウム・ボタン電池誤飲後短時間で食道穿孔をきたした1例
—大型リチウム・ボタン電池は乳幼児のいる家庭から排除しよう—

岡 敏明 (Oka Toshiaki)

医療法人社団徳洲会 札幌徳洲会病院 小児科

O1-109 当センターにおける誤飲相談

加藤 康代 (Katou Yasuyo)

京都市子ども保健医療相談・事故防止センター 京あんしんこども館

O1-110 傷害予防につながる情報収集についての検討

山中 龍宏 (Yamanaka Tatsuhiko)

緑園こどもクリニック、産業技術総合研究所子どもの傷害予防工学カウンスル

O1-111 乳幼児期のふたごに起きた医療機関を受診した不慮の事故の実態

太田ひろみ (Ohta Hiromi)

杏林大学 保健学部 看護学科

一般演題 22

事故と救急 2

▶ 14:00 - 15:00

座長：岡 敏明 (Oka Toshiaki) 医療法人社団徳洲会 札幌徳洲会病院 小児科

O1-112 学校でのAED設置、救急講習会実施状況調査と教職員の救急蘇生法に関するアンケート調査

立花 幸晃 (Tachibana Yukiteru)

網走厚生病院 小児科

O1-113 乳幼児の心肺蘇生法 (CPR) 講習会の試み II

井上 了子 (Inoue Ryouko)

京都市子ども保健医療相談・事故防止センター 京あんしんこども館

O1-114 保育園通園児の保護者へのチャイルドシート (CRS) に関する意識調査

長村 敏生 (Osamura Toshio)

京都第二赤十字病院 小児科

O1-115 慢性疾患児におけるチャイルドシートのスペシャルユーズに関するアンケート調査

服部 益治 (Hattori Masuji)

兵庫医科大学 小児科

O1-116 小児準夜間診療における電話相談内容からみる親のニーズ

幸田 由香 (Kohda Yuka)

聖路加国際病院 小児総合医療センター

O1-117 身体地図機能を持つ傷害サーベイランスシステムを用いた傷害データの蓄積と分析

林 幸子 (Hayashi Yukiko)

国立成育医療センター

一般演題 23

生活習慣 1

▶ 15:00 - 16:00

座長：山口規容子 (Yamaguchi Kiyoko) 母子愛育会総合母子保健センター愛育病院

01-118

授乳方法が乳幼児の口腔習慣と行動に与える影響
—3歳児のアンケート調査分析から—

藤村 真弓 (Fujimura Mayumi)

茨城キリスト教大学 看護学部

01-119

手づかみ食べや食具 (スプーン・フォーク) 食べる開始時期に関する実態調査

板子 絵美 (Itako Emi)

ピジョン株式会社 中央研究所

01-120

幼児期の箸の扱い方の支援方法の確立に関する研究 第一報
幼児の手指機能を考慮した発達支援の効果について

大岡 貴史 (Ooka Takafumi)

昭和大学 歯学部 口腔衛生学教室

01-121

幼児をもつ母親・父親の幼児食に関する意識について

渡辺 俊之 (Watanabe Toshiyuki)

江崎グリコ(株) 食品開発研究所

01-122

保育科学生の保育所実習に関する研究
—実習生からみた保育所の給食指導についての一考察—

駒井美智子 (Komai Michiko)

東京福祉大学 こども学科

01-123

看護学生における定期歯科健診についての意識調査

佐藤 公子 (Sato Kimiko)

県立広島大学

一般演題 24

生活習慣 2

▶ 16:00 - 17:00

座長：二宮 啓子 (Ninomiya Keiko) 神戸市看護大学 看護学部

01-124

未就学児の肥満を予防するための保健教育に関する保護者のニーズ

萬 美奈子 (Yorozu Minako)

北海道医療大学 看護福祉学部 看護学科

01-125

小児の肥満指導—中断症例から考える反省と課題—

岡村 暁子 (Okamura Akiko)

宮の沢小池こどもクリニック

01-126

小児生活習慣病外来における肥満改善は可能か

山村 涼子 (Yamamura Ryoko)

久留米信愛女学院短期大学 健康栄養学科

01-127

食行動質問表を活用した肥満予防のためのネットワーク利用環境の整備

結城 瑛子 (Yuhki Teruko)

横浜市立大学 医学部

第1会場

教育講演 3

▶ 12:50 - 13:30

座長：氏家 武 (Ujii Takeshi) 北海道こども心療内科氏家病院

EL3

子どもの非行化予防に役立つ社会性指導の実際

小栗 正幸 (Oguri Masayuki)

宮川医療少年院

シンポジウム 5

いじめ問題を巡って

▶ 13:30 - 15:00

座長：松田 孝之 (Matsuda Takayuki) 北海道こども心療内科氏家医院

二宮 恒夫 (Ninomiya Tsuneo)

徳島大学 医学部 保健学科 看護学専攻 母性・小児看護学講座

S5-01

いじめ介入への医療の支援 ～被害児・加害児の治療と和解のプロセス～

奥山眞紀子 (Okuyama Makiko)

国立成育医療センター こころの診療部

S5-02

いじめへの対応と校内連携

大道 和恵 (Oomichi Kazue)

札幌市立宮の森中学校

S5-03

"いじめられ体験"の反応と回復過程

手代木理子 (Teshirogi Riko)

札幌医科大学附属病院

第2会場

一般演題 25

育児・保育：保育士・保育所

▶ 09:30 - 10:30

座長：草薙 美穂 (Kusanagi Miho) 天使大学 看護学科

O2-001 保育所の情報提供機能に関する研究－保護者と学校保健への情報提供

荒木田美香子 (Arakida Mikako)
国際医療福祉大学 小田原保健医療学部

O2-002 管理強化と過剰支援の二極化傾向

駒井美智子 (Komai Michiko)
東京福祉大学

O2-003 幼稚園で障害児に対して行われている援助についての検討
～日常保育や遊び場面での援助を中心に～

森江 裕子 (Morie Yuko)
奈良教育大学 教育学研究科

O2-004 子どもの病気や怪我に対する保育士の認識

舟越 和代 (Funakoshi Kazuyo)
香川県立保健医療大学 保健医療学部 看護学科

O2-005 保育者の「気になる子ども」の特徴と保護者からの相談内容の比較

熊野 瑞生 (Kumano Mizuki)
順天堂大学 医療看護学部

O2-006 幼稚園・保育所における日本語を解さない子どもの保育に関する調査研究

田川 悦子 (Tagawa Etsuko)
鎌倉女子大学短期大学部 初等教育学科

一般演題 26

育児・保育：保育所・乳児院

▶ 10:30 - 11:30

座長：坂林 博子 (Sakabayashi Hiroko)
北海道立子ども総合医療・療育センター 看護部

O2-007 福島県の保育園・幼稚園における与薬など病児の対応に関する実態調査
(第1報) —子どもの健康状態の把握と病気時の対応—

田中 克枝 (Tanaka Katsue)
福島県立医科大学

O2-008 福島県の保育園・幼稚園における与薬など病児の対応に関する実態調査
(第2報) —服薬等の援助に関する対応—

田中 克枝 (Tanaka Katsue)
福島県立医科大学

O2-009 福島県の保育園・幼稚園における与薬など病児の対応に関する実態調査
(第3報) —服薬や病児の対応に関しての問題—

阿部 頼子 (Abe Yoriko)
前福島県立医科大学 看護学部

O2-010 乳児院に勤務する保育士が抱く子どもに対する思い

松本明日香 (Matsumoto Asuka)
武蔵野赤十字病院

O2-011 乳児院における看護師の専門的役割の検討

若井 和子 (Wakai Kazuko)

川崎医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 医療福祉学専攻 博士課程、
倉敷市保健医療センター 倉敷看護専門学校

O2-012 乳児院に措置される児の背景—30年の変遷

罔府寺 美 (Kohdera Urara)

特別医療法人 真美会 中野こども病院

ランチョンセミナー5

▶ 12:00 - 12:50

座長：渡辺 徹 (Watanabe Toru) わたなべ小児科・アレルギー科クリニック

LS5

乳幼児喘息治療の最前線 吸入ステロイド薬の位置付け

山口 公一 (Yamaguchi Koichi)

同愛記念病院 小児科

共催：アストラゼネカ株式会社

一般演題 27

育児・保育：障害児

▶ 13:00 - 14:00

座長：荒木 暁子 (Araki Akiko) 千葉県千葉リハビリテーションセンター 看護局

O2-013 「障害」の社会的受容の促進のための一試行

宮川 公子 (Miyakawa Kimiko)

県立新潟女子短期大学 生活科学科

O2-014 保育施設における障害児保育の現状—保育士の立場から—

下江久美子 (Shimoe Kumiko)

大阪大学 医学系研究科学 保健学専攻

O2-015 A市の保育施設における障害児保育の現状—看護師の立場から—

田中 紗代 (Tanaka Sayo)

大阪大学 医学系研究科学保健学専攻

O2-016 保育施設における障害児保育の現状—施設長の立場から—

吉波 有香 (Yoshinami Arika)

大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻

O2-017 知的・発達障害幼児とそのリスク児の療育・保育への親・家族支援ニーズの影響について

橋本 創一 (Hashimoto Soichi)

東京学芸大学 教育実践研究支援センター

O2-018 通常学校に在籍する重度・重複障害児の学校生活実態と課題～母親へ

鈴木あかり (Suzuki Akari)

大阪市立西淀川養護学校

一般演題 28

育児・保育：障害児・保育

▶ 14:00 - 15:00

座長：小谷 信行 (Kodani Nobuyuki) 松山赤十字病院 小児科

02-019 幼児期における発達性協調運動障害のスクリーニング評価法の検討
—MABC チェックリストと DCDQ'07 の比較—

増田 貴人 (Masuda Takahito)

弘前大学 教育学部

02-020 福井県における気がかりな子どもの支援に関する幼稚園・保育園と諸機関の連携の実態と課題 (文部科学省 平成 19 年度子どものこころ基盤整備事業)

竹内 恵子 (Takeuchi Keiko)

福井大学 教育地域科学部 生活科学教育講座

02-021 特別支援教育に関する小学校現場の取組みの現状と課題
～ A 市の特別支援教育コーディネーターの視点から～

原 麻由美 (Hara Mayumi)

大阪大学大学院 医学系研究科 生命育成看護科学講座

02-022 酵素補充療法を受けたムコ多糖症 II 型患児の看護

沓脱小枝子 (Kutsunugi Saeko)

山口大学 医学部 保健学科

02-023 エーラース・ダンロス症候群患児の現状と支援について

小池みさを (Koike Misao)

浦安市こども発達センター

02-024 ダウン症候群乳幼児をもつ母親の日常の心配事に関する調査

黒田 舞 (Kuroda Mai)

埼玉県立小児医療センター 保健発達部

第3会場

一般演題 29

育児・保育：周産期子育て

▶ 09:30 - 10:30

座長：佐藤 洋子 (Sato Yoko) 北海道大学大学院 保健科学研究院

O2-025 周産期の子育て支援拡充に向けた専門職再教育プログラムの受講動機

栗谷とし子 (Kuritani Toshiko)
島根県立大学短期大学部 保育学科

O2-026 周産期メンタルヘルスと虐待防止に関する育児支援システムの実態—全国の県型保健所による取組み—

杉下 佳文 (Sugishita Kafumi)
東京大学大学院 医学系研究科 家族看護学分野

O2-027 出産後～12週の母親の育児不安と具体的な心配事の時期別検討—効果的な指導内容の検討を目的として—

橋本 美幸 (Hashimoto Miyuki)
埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科

O2-028 産婦人科併設の歯科で行う「出産後歯科健診(ママ・サポート歯科健診)」について—アンケートからの調査報告—

藤岡 万里 (Fujioka Mari)
昭和大学 歯学部 小児成育歯科学教室、医療法人緑生会 あびこクリニック 歯科

O2-029 妊娠出産子育て基本調査—妊娠後期と0,1,2歳の子どもを持つ夫婦のQOLの関連要因—

菅原ますみ (Sugawara Masumi)
お茶の水女子大学大学院 人間文化創成研究科

O2-030 妊娠出産子育て基本調査—妊娠後期と0,1,2歳の子どもを持つ夫婦のワークライフバランス—

高岡 純子 (Takaoka Junko)
ベネッセコーポレーション 次世代育成研究所

一般演題 30

育児・保育：病児と母親

▶ 10:30 - 11:30

座長：石井 榮一 (Ishii Eiichi) 愛媛大学大学院 小児医学

O2-031 和歌山県難病・子ども保健相談支援センターにおける相談状況の検討—前期(平成12～15年)と後期(平成16～19年)を比較して—

内田 史 (Uchita Fumi)
和歌山県難病・子ども保健相談支援センター

O2-032 長期療養児の支援のあり方についての検討—支援する上の類似点に着目して—

前馬 理恵 (Maeuma Rie)
和歌山県立医科大学 保健看護学部

O2-033 入院患児の母子分離不安緩和の援助—病棟保育士として関わった効果—

加藤 駿一 (Kato Shunichi)
獨協医科大学病院 とちぎ子ども医療センター 3階南病棟

O2-034 子どもの入院における保護者の不安

秦野 悦子 (Hatano Etsuko)
白百合女子大学 文学部

O2-035 育児に関する母親の知識とそれに影響を及ぼす因子
～子どもが病気になった時の対処について～第1報

池内 聡美 (Ikeuchi Satomi)
小倉記念病院

O2-036 育児に関する母親の知識とそれに影響を及ぼす因子
～子どもが病気になった時の対処について～第2報

片岡 美希 (Kataoka Miki)
小倉記念病院

ランチョンセミナー 6

▶ 12:00 - 12:50

座長：奥山眞紀子 (Okuyama Makiko) 国立成育医療センター こころの診療部

LS6

AD/HD の理解と対応

宮本 信也 (Miyamoto Shinya)
筑波大学大学院 人間総合科学研究科

共催：日本イーライリリー株式会社

一般演題 31

育児・保育：子育て支援 3

▶ 13:00 - 14:00

座長：榎木野裕美 (Naragino Hiromi) 大阪府立大学 看護学部 家族支援看護学領域

O2-037 全国保健所・保健センターにおける多胎育児支援に関する調査結果

加藤 則子 (Kato Noriko)
国立保健医療科学院 生涯保健部

O2-038 9～10ヶ月児の夜間覚醒についての調査—母乳栄養児と人工栄養児の比較検討—

田中由起子 (Tanaka Yukiko)
パルモア病院 小児科

O2-039 小児病棟における子育て支援の必要性<その1>
—遊びのボランティアの実態調査—

坂上 和子 (Sakaue Kazuko)
NPO 法人 病気の子ども支援ネット遊びのボランティア

O2-040 小児病棟における子育て支援の必要性<その2>
—個別対応事例への遊びのボランティアの実態調査—

金森 三枝 (Kanamori Mie)
東洋英和女学院大学 人間科学部 人間福祉学科

▶ 14:00 - 15:00

座長：伊藤 悦朗 (Ito Etsuro) 弘前大学大学院 医学研究科 小児科

O2-041 育児書の指導記述の変遷からみた乳幼児の運びの問題

石原 栄子 (Ishihara Eiko)
作新学院大学女子短期大学部

O2-042 小学生の乳児あやし行動に関する音声・行動分析研究—男女差について—

中川 愛 (Nakagawa Ai)
湊川短期大学 幼児教育保育学科、兵庫教育大学大学院

O2-043 子育て混乱とあまえ表象

澤田 敬 (Sawada Kei)
高知県立中央児童相談所

O2-044 青年期の孫からみた祖父母の機能と育児における役割期待

越智みゆき (Ochi Miyuki)
大阪大学 医学部附属病院

O2-045 青年期に至る過程での自然体験と Health Locus of Control との関連

川崎 友絵 (Kawasaki Tomoe)
奈良教育大学

第4会場

一般演題 33

小児医療：療育・養育

▶ 09:30 - 10:30

座長：篠木 絵理 (Shinoki Eri) 東京医療保健大学 医療保健学部 看護学科

O2-046 発達障害児に対する音楽療法：第5報～4p- 症候群女児への試み～

鈴木 涼子 (Suzuki Ryoko)
日本大学 医学部 小児科 音楽療法士

O2-047 肢体不自由児施設に長期入所する子どもをもつ母親の思い
—母子分離中の母親へのインタビューから—

増田 由美 (Masuda Yumi)
三重県立総合医療センター

O2-048 療育に関わる専門職の協働に関する研究 (第2報)
—保健・福祉の専門職の調査から—

佐鹿 孝子 (Sashika Takako)
埼玉医科大学 保健医療学部

O2-049 ダウン症の子どもをもつ家族の自立に対する認識 1
—家族が望む自立の程度—

仁尾かおり (Nio Kaori)
愛知医科大学

O2-050 ダウン症の子どもをもつ家族の自立に対する認識 2
—自立に向けた家族のかかわり—

文字 智子 (Monji Tomoko)
兵庫県立こども病院

O2-051 ムコ多糖症児を養育する親の身体活動量について

田崎知恵子 (Tazaki Chieko)
共立女子短期大学 看護学科

一般演題 34

小児医療：療育 他

▶ 10:30 - 11:30

座長：三池 輝久 (Miike Teruhisa)

兵庫県立総合リハビリテーションセンター子どもの睡眠と発達医療センター リハビリテーション中央病院

O2-052 発達専門外来に通う患児の母親とスタッフの評価の違いの検討

柴田さゆみ (Shibata Sayumi)
日本大学 医学部 小児科保育士

O2-053 障害児へのタッチケアがその母親に及ぼす影響

大森 裕子 (Oomori Hiroko)
甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 看護学科

O2-054 広島県 A 市における、障害児デイサービスと大学診療所との連携の実践報告

細川 淳嗣 (Hosokawa Astushi)
県立広島大学 保健福祉学部 コミュニケーション障害学科

O2-055 発達障害児の地域療育を支える多職種の連携と言語聴覚士の役割

清水 美果 (Shimizu Mika)
飯山赤十字病院 リハビリテーション科

O2-056 重症心身障害児病棟における入院児理解のための情報共有資料
(患者サポートブック) 作成の試み

村松 清美 (Muramatsu Kiyomi)
国立精神・神経センター病院 看護部

O2-057 小児科病棟における発達支援型入院治療

小山田美香 (Oyamada Mika)
秋田大学 医学部 生殖発達医学講座 小児科学分野

一般演題 35

小児医療：医療・医療支援

▶ 13:00 - 14:00

座長：田中 義人 (Tanaka Yoshito) 広島大学大学院 保健学研究科

O2-058 長期生存した脳死の1例

原 啓太 (Hara Keita)
市立枚方市民病院 小児科

O2-059 小児科領域における非侵襲的換気補助療法 (NIV : Noninvasive ventilation)
～小児 NIV センターの取り組み～

土畠 智幸 (Dobata Tomoyuki)
手稲溪仁会病院 小児 NIV センター

O2-060 20年間の脳性麻痺リスク児の超早期治療について

林 万リ (Hayashi Mari)
横浜市総合リハビリテーションセンター 発達神経内科

O2-061 一般病院での小児リハビリテーションにおける座位保持装置作成と医師の役割

森田 昌男 (Morita Masao)
千葉県勤労者医療協会 船橋二和病院

O2-062 ウイルソン病友の会活動状況, 第三報

清水 教一 (Shimizu Norikazu)
東邦大学 医学部 小児科学第二講座

O2-063 小児慢性特定疾患治療研究事業における非継続症例の経過に関する実態調査

佐藤 ゆき (Sato Yuki)
国立成育医療センター研究所 成育政策科学研究部

O2-064 法制化前後で疾患名を変更した小児慢性特定疾患児の登録状況

顧 艶紅 (Gu Yanhong)
国立成育医療センター研究所 成育政策科学研究部

一般演題 36

防煙

▶ 14:00 - 15:00

座長：原田 正平 (Harada Shohei)

国立成育医療センター 成育政策科学研究部 成育医療政策科学研究室

O2-065 「敷地内禁煙」に対する保護者の意識調査

木下 博子 (Kinoshita Hiroko)

大分こども病院

O2-066 「かわいいタバコ」の甘い誘惑

鈴木 史明 (Suzuki Fumiaki)

医療法人定生会 谷口病院

O2-067 喫煙に対する保護者の認識と現状

黒岩 玲 (Kuroiwa Rei)

せいれい会あだち小児科

O2-068 小児気管支喘息として長期追跡中患児の乾燥濾紙尿中コチニン濃度による受動喫煙の評価

原田 正平 (Harada Shohei)

国立成育医療センター 成育政策科学研究部、国立成育医療センター 総合診療部

第5会場

一般演題 37

▶ 09:30 - 10:30

発育・発達：発達障害 1

座長：岩永竜一郎 (Iwanaga Ryoichiro)
長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 保健学専攻理学・作業療法学講座

O2-069 現代 GP「親と子の心を支援できる人材育成教育の構築」の取り組み

永井利三郎 (Nagai Toshisaburo)
大阪大学 医学系研究科 保健学専攻

O2-070 発達障害児をもつ母親がわが子の発達評価を見誤った背景をさぐる

南谷 幹之 (Minamitani Motoyuki)
埼玉県立小児医療センター 保健発達部

O2-071 幼稚園児の適応困難に関する保育者の意識調査 第2報

尾崎 啓子 (Ozaki Keiko)
埼玉大学 教育学部附属教育実践総合センター

O2-072 発達障害児の自己有能感を育てる学習到達目標とは？—中学生の指導実践から—

長尾 秀夫 (Nagao Hideo)
愛媛大学 教育学部 特別支援医学

O2-073 特別支援学級に在籍する児童と乳幼児健診

山口 志麻 (Yamaguchi Shima)
神戸大学大学院 保健学研究科・神戸市立友生養護学校

O2-074 特別支援教育に関する小学校現場の取組の現状と課題
～A市の特別支援教育担当教員への調査から～

樋口 育代 (Higuchi Ikuyo)
大阪大学 医学部 保健学専攻

一般演題 38

▶ 10:30 - 11:30

発育・発達：発達障害 2

座長：小枝 達也 (Koeda Tatsuya) 鳥取大学 地域学部 地域教育学科

O2-075 大阪市の母子保健事業としての発達障害相談(2)～相談内容の分析

新平 鎮博 (Niihira Shizuhiko)
大阪市保健所、大阪市こども青少年局

O2-076 堺市の発達障害児支援の実情に関するアンケート調査 Part1 就学前児について

清水 涼子 (Shimizu Ryoko)
大阪大学 医学系研究科 保健学専攻

O2-077 堺市の発達障害児支援の実情に関するアンケート調査 Part2
～就学前から中学生の発達障害をもつ子ども～

村田 絵美 (Murata Emi)
大阪大学大学院 医学系研究科 子どものこころの分子統御機構研究センター

O2-078 地域で行う発達支援教室の普遍化に向けての取り組み 第1報
～教室に参加する家族の参加動機～

山本 暁生 (Yamamoto Akio)
神戸大学大学院 保健学研究科

02-079 地域で行う発達支援教室の普遍化に向けての取り組み—第2報—

松井 学洋 (Matsui Gakuyou)
神戸大学大学院 保健学研究科

一般演題 39

発達・発達：発達障害 3

▶ 13:00 - 14:00

座長：沖 潤一 (Oki Junichi) 旭川厚生病院 小児科

02-080 サポートブックの作り方、使い方ガイド（幼児・低学年用）の作成—神戸市の試み—

高田 哲 (Takada Satoshi)
神戸大学大学院 保健学研究科 地域保健学領域、神戸市サポートブック作成検討委員会

02-081 軽度発達障害の子ども達への絵本の読み聞かせの試み

比留間敦子 (Hiruma Atsuko)
日本赤十字医療センター 小児保健科

02-082 軽度発達障害児についての保育園、幼稚園の状況と担当者の要求

大久保節士郎 (Ookubo Setsushiro)
立川相互病院 小児科

02-083 地域療育センターにおける摂食・嚥下外来の実態—摂食・嚥下機能に関連する要因の検討—

高橋 摩理 (Takahashi Mari)
昭和大学 歯学部 口腔衛生学教室

02-084 注意欠陥多動性障害におけるメチルフェニデート速放錠とメチルフェニデート徐放錠の効果の相違について

古宮 圭 (Komiya Kei)
都立墨東病院 小児科

第6会場

一般演題 40

小児医療：プレパレーション

▶ 09:30 - 10:30

座長：江本 リナ (Emoto Rina) 日本赤十字看護大学 小児看護学

02-085

幼児に行ったプレパレーションの経済効果の検討
～プレパレーションを受けた子どもの反応時間～

横山 佳世 (Yokoyama Kayo)

札幌医科大学附属病院 小児科看護室

02-086

幼児期のプレパレーションに対する意識・実施の影響要因についての検討

山口 孝子 (Yamaguchi Takako)

名古屋市立大学 看護学部

02-087

プレパレーションを用いた手術前後の説明の効果

大胡 智里 (Ooko Chisato)

船橋二和病院

02-088

言語的コミュニケーションの充分にとれない子どもへのプリパレーション

山口 瞳 (Yamaguchi Hitomi)

長崎県済生会病院

02-089

子どもに対する血圧測定のプレパレーションの効果に関する検討 II

松森 直美 (Matsumori Naomi)

県立広島大学 保健福祉学部 看護学科

02-090

小児のプレパレーションに対する医学生への認識—授業前、実習後調査より

蝦名美智子 (Ebina Michiko)

札幌医科大学 保健医療学部

02-091

小児のプレパレーションに対する看護学生の認識—講義前後、実習後の変化より

今野 美紀 (Konno Miki)

札幌医科大学 保健医療学部 看護学科

一般演題 41

小児医療：呼吸器・在宅医療

▶ 10:30 - 11:30

座長：鈴木真知子 (Suzuki Machiko)

京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻 成育看護学分野

02-092

小児科領域の在宅非侵襲的換気補助療法 (NIV) における看護の介入と課題

武藤こずえ (Muto Kozue)

手稲溪仁会病院 小児 NIV センター

02-093

在宅人工呼吸療法を受ける患児の母親の思いと病棟訪問看護師の役割

小林さやか (Kobayashi Sayaka)

川口市立医療センター

02-094

筋ジストロフィー在宅人工呼吸の問題点

三上 順子 (Mikami Junko)

国立病院機構徳島病院 看護部

02-095

人工呼吸器を装着している子どもをもつ親が入院中に他の親とかかわる体験

森貞 敦子 (Morisada Atsuko)

財団法人 倉敷中央病院

02-096 先天性中枢性低換気症候群 7 歳女児例の在宅療養へ向けてのアプローチ

笠井 厚子 (Kasai Atsuko)
国立病院機構徳島病院 看護部

02-097 医療的ケアを必要とする小児の在宅療養への支援の現状
—看護師による患者・家族への関わり方と必要と考える役割—

浅田佳代子 (Asada Kayoko)
あいち小児保健医療総合センター

一般演題 42

小児医療：看護 2

▶ 13:00 - 14:00

座長：松浦 和代 (Matsuura Kazuyo) 札幌市立大学 看護学部

02-098 予後不良の子どもに関わる看護師の感情と看護

小林 千穂 (Kobayashi Chiho)
国立成育医療センター

02-099 長期入院児の気持ちを大切にしたい遊びの援助—夢中になれる遊びに焦点を当てて—

安曇智恵子 (Azumi Chieko)
杏林大学 保健学部 看護学科

02-100 「入院している子どもと看護師の関わりについて」～看護師と子どもの関わり
のビデオ観察とインタビューをとおして～

重 江梨香 (Shige Erika)
都立広尾病院 看護課 小児科

02-101 入院中のこどもの楽しい食事～こども同士と一緒に食べることの大切さ～

坂下 陽子 (Sakashita Yoko)
杏林大学 保健学部 看護学科

02-102 病院ごっこコーナーの試み

齋当 恵子 (Saitou Keiko)
北海道勤労者医療協会 菊水こども診療所

一般演題 43

小児医療：看護 3

▶ 14:00 - 15:00

座長：内田 雅代 (Uchida Masayo) 長野県看護大学 小児看護学講座

02-103 看護場面で用いられる語彙—医療に関する語彙—

和田久美子 (Wada Kumiko)
聖徳大学大学院 児童学研究科 児童学専攻

02-104 診察を長時間待つ患児・家族に対して看護師が困っていることとその対応

堀田 昇吾 (Horita Shogo)
国立成育医療センター

02-105 成長ホルモン治療を受ける患児の治療継続への看護援助の検討
—外来における患児と親の実態調査から—

斉藤 祥子 (Saito Nagako)
北海道大学病院 外来ナースセンター

02-106 慢性疾患をもつ子どもの自立に向けた親への支援に関する小児外来看護師の思い

黒田 光恵 (Kuroda Mitsue)
自治医科大学 とちぎ子ども医療センター

02-107 慢性疾患患児の服薬行動に関する研究—急薬の理由に関連する要因について—

安本 卓也 (Yasumoto Takuya)
あいち小児保健医療総合センター

第7会場

一般演題 44

精神保健：病児・障害児

▶ 09:30 - 10:30

座長：津川 敏 (Tsugawa Satoshi) 北海道済生会西小樽病院 みどりの里

O2-108 運動発達や精神発達の遅れを対象とする当診療所外来の現状と課題

平井 清 (Hirai Kiyoshi)
京都府立こども発達支援センター診療所 小児科

O2-109 重症心身障害児におけるホットパックの効用
～心拍変動への周波数解析による分析～

山根 康代 (Yamane Yasuyo)
鳥取県立鳥取養護学校

O2-110 思春期広汎性発達障害男児のための性教育プログラムの実践

川上ちひろ (Kawakami Chihiro)
名古屋大学大学院 医学系研究科 健康社会医学

O2-111 海外での社会体験が障害のある子どもや保護者に与える有用性
—第一報 子どもの海外派遣に対する親の体験—

川上あずさ (Kawakami Azusa)
兵庫大学 健康科学部 看護学科

O2-112 海外での社会体験が障害のある子どもや保護者に与える有用性
—第二報 子どもの行動の変化について—

池田 友美 (Ikeda Tomomi)
兵庫大学 健康科学部 看護学科

O2-113 海外での社会体験が障害のある子どもや保護者に与える有用性
—第三報 子どものバウム・テストの変化について—

中須賀洋子 (Nakasuga Yoko)
兵庫大学 健康科学部

一般演題 45

精神保健：学校

▶ 10:30 - 11:30

座長：多米 豊 (Tame Yutaka) ため小児科医院

O2-114 小学校生活における保護者の「気づき」について

秋山千枝子 (Akiyama Chieko)
あきやま子どもクリニック

O2-115 重症児の学校生活を支える～特別支援学校でのスクールセラピスト
(理学療法士)・スクールナースの役割～

多田 智美 (Tada Satomi)
三重県立特別支援学校 北勢さらら学園

O2-116 学校における相談活動の実施状況

堀口 寿広 (Horiguchi Toshihiro)
国立精神・神経センター 精神保健研究所 社会精神保健部

O2-117 高校生におけるセルフエスティームおよび自己愛の形成と友人関係に及ぼす影響

中野 恵理 (Nakano Eri)
金沢大学大学院 医学系研究科 保健学専攻

O2-118 思春期の性役割意識と自己満足度の男女差

大森 智美 (Oomori Tomomi)
埼玉医科大学 保健医療学部 看護学科

O2-119 前思春期からの体型変化が中学生の抑うつ状態に及ぼす影響

佐藤 美理 (Sato Miri)
山梨大学大学院 医学工学総合教育部 社会医学講座

ランチョンセミナー 7

▶ 12:00 - 12:50

座長：母坪 智行 (Hotsubo Tomoyuki) NTT 東日本札幌病院 小児科

LS7

成長曲線を活用した小児成長障害の診かた

依藤 亨 (Yorifuji Toru)
京都大学 医学部附属病院 小児科

共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

一般演題 46

学校保健 1

▶ 13:00 - 14:00

座長：菊池 透 (Kikuchi Toru) 新潟大学 医歯学総合病院 小児科

**O2-120 3歳児視聴覚健診導入と効率に関する考察
(特に視覚健診に関して) 第14報**

中目沙衣子 (Nakanome Saiko)
東邦大学 医療センター 大森病院

**O2-121 愛知県における学校検尿 (第1報)
—その年次推移と検査機関間差異からみた現状—**

都築 一夫 (Tsuzuki Kazuo)
社会保険中京病院、愛知県学校保健健診協議会 学校健診委員会

O2-122 学童期の子どもの足に関する研究—足と靴に関する子どもの関心—

平出 礼子 (Hiraide Reiko)
長野県看護大学

O2-123 H 中学での骨密度測定の取り組み経過と対策

倉信 均 (Kuranobu Hitoshi)
梶原診療所

O2-124 スクールソーシャルワーカー (SSW) 導入の成果と課題—実践にもとづく提案—

田代 信久 (Tashiro Nobuhisa)
近畿大学九州短期大学 臨床心理士

O2-125 学校保健に関する調査報告 (平成 19 年度)

飯沼 和枝 (Iinuma Kazue)
日本小児科医会 公衆衛生部

▶ 14:00 - 15:00

座長：山崎 嘉久 (Yamazaki Yoshihisa) あいち小児保健医療総合センター

O2-126 児童館に通う小学生の友だちのとりえ方に関する研究

岩見 文博 (Iwami Fumihiro)
杏林大学大学院 保健学研究科

O2-127 小学校高学年児のストレス度と生活状況

三浦 浩美 (Miura Hiromi)
香川県立保健医療大学 保健医療学部 看護学科

O2-128 小学校高学年児のストレス対処行動と自尊感情の関連

小川 佳代 (Ogawa Kayo)
香川県立保健医療大学 保健医療学部 看護学科

O2-129 児童・生徒・学生のボディイメージと心身の健康との関連について

近藤 洋子 (Kondo Yoko)
玉川大学 文学部 人間学科

O2-130 思春期の鉄欠乏性貧血における異食症の実態

河上 智美 (Kawakami Tomomi)
日本歯科大学

O2-131 養護教諭からみた思春期の健康問題—デルファイ法による質問紙調査を実施して—

岸田 泰子 (Kishida Yasuko)
甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 看護学科

第8会場

一般演題 48

栄養

▶ 09:30 - 10:30

座長：有阪 治 (Arisaka Osamu) 獨協医科大学 小児科

O2-132 栄養相談外来を開設して～これまでの活動を振り返って

上石 晶子 (Kamiishi Akiko)

島田療育センター 小児科

O2-133 小学生以下の子どもの母親の食育に関する研究

堤 ちはる (Tsutsumi Chiharu)

日本子ども家庭総合研究所 母子保健研究部

O2-134 女子大生の体格からみた小児期からの栄養の重要性

多田 裕 (Tada Hiroshi)

実践女子大学 生活科学部 食生活科学科

O2-135 乳児の発育、哺乳量ならびに便性に関する調査成績 (2006-2007 年調査)

菅野 貴浩 (Kanno Takahiro)

明治乳業株式会社 研究本部 食機能科学研究所

一般演題 49

生活習慣 3

▶ 10:30 - 11:30

座長：西田 勝 (Nishida Masaru) 重症心身障害児施設 枚方療育園 小児科

O2-136 3歳児の生活習慣アンケート調査 (その1)

下地ヨシ子 (Shimoji Yoshiko)

沖縄県小児保健協会

O2-137 3歳児の生活習慣アンケート (その2)

仲宗根輝子 (Nakasone Teruko)

那覇市役所

O2-138 小学校における生活改善プログラムの効果に関する研究 (第3報)
—平成19年度の生活改善プログラムの結果の分析—

丸山 浩枝 (Maruyama Hiroe)

神戸市看護大学

O2-139 小学校における生活改善プログラムの効果に関する研究 (第4報)
—2年間の生活改善プログラムの効果の分析—

二宮 啓子 (Ninomiya Keiko)

神戸市看護大学

O2-140 学童における習い事の地域差について～スイミングスクールの在籍学童での調査～

森 拓也 (Mori Takuya)

クリエイイト L&S

第3日目 9月27日(土)

一般演題 50

生活習慣 4

▶ 13:00 - 14:00

座長：中村 伸枝 (Nakamura Nobue) 千葉大学 看護学部

O2-141 乳児の睡眠リズムと母親の睡眠・食事との関係についての検討

河田 興 (Kawada Kou)

香川大学 医学部 附属病院 総合周産期母子医療センター

O2-142 乳幼児の夜間睡眠の評価—actigraph と睡眠日誌の比較—

安積 陽子 (Asaka Yoko)

神戸大学大学院 保健学研究科、甲南女子大学 看護リハビリテーション学部

O2-143 東北地方の子どもにみる睡眠と食事の関係について

岩田 浩子 (Iwata Hiroko)

聖霊女子短期大学 生活文化科 生活こども専攻

O2-144 中学生に対するセルフスリープマネージメントの取り組み

公平 絵里 (Kimihira Eri)

office21kitatoda

一般演題 51

生活習慣 5

▶ 14:00 - 15:00

座長：杉原 茂孝 (Sugihara Shigetaka) 東京女子医科大学 東医療センター 小児科

O2-145 肥満改善度に影響を及ぼす食生活習慣について

和田 恵子 (Wada Keiko)

あいち小児保健医療総合センター 総合診療部

O2-146 小児生活習慣病の予防介入に関する研究—中学生の肥満と生活習慣との関連要因分析—

阪口しげ子 (Sakaguchi Shigeko)

信州大学 医学部 保健学科

O2-147 中学生の生活習慣病調査研究と社会的取り組み

本郷 実 (Hongo Minoru)

信州大学 医学部 保健学科

O2-148 中学生の生活と排便との関連性

新沼 正子 (Niinuma Masako)

岡山大学大学院 保健学研究科

第9会場

一般演題 52

▶ 09:30 - 10:30

感染症・予防接種：感染症 1

座長：脇口 宏 (Wakiguchi Hiroshi) 高知大学 医学部 小児科

O2-149

2007年における麻疹流行についての検討

阿部百合子 (Abe Yuriko)
板橋区医師会病院 小児科

O2-150

沖縄県における麻疹全数把握事業と接触者の疫学的追跡調査—2007

知念 正雄 (Chinen Masao)
沖縄県はしか0プロジェクト委員会、(社)沖縄県小児保健協会

O2-151

秋田県北部における地域内麻疹流行阻止対策について—学校保健法第12条適応による出校停止措置と緊急ワクチン接種効果の検討—

高橋 義博 (Takahashi Yoshihiro)
大館市立総合病院 小児科

O2-152

職員の麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘の抗体保有状況について

下山田洋三 (Shimoyamada Yozo)
愛徳医療福祉センター 小児科

O2-153

小中学校における麻疹予防システム構築に向けた調査

渡辺多恵子 (Watanabe Taeko)
筑波大学大学院 人間総合科学研究科

O2-154

麻疹など予防可能な5感染症に対する感受性者の現状および学生の認識度—非医学系4年制大学における2008年アンケート調査から

石川 達也 (Ishikawa Tatsuya)
日本福祉大学 子ども発達学部 心理臨床学科

一般演題 53

▶ 10:30 - 11:30

感染症・予防接種：予防接種

座長：小田 慈 (Oda Megumi) 岡山大学大学院 保健学研究科小児科

O2-155

MMRワクチン問題(1989-1993)の検討から今後の予防接種における安全確保を考える—国の責任を中心に—

栗原 敦 (Kurihara Atsushi)
全国薬害被害者団体連絡協議会、MMR被害児を救援する会、
独立行政法人医薬品医療機器総合機構運営評議会救済業務委員会

O2-156

当院職員の予防接種にて対応可能な疾患に対する抗体保有状況から見た、日本の成人に対する予防接種活動の問題

浦部 大策 (Urabe Daisaku)
聖マリア病院 新生児科

O2-157

看護学生に対する予防接種の勧奨とその効果(第一報)—特に麻疹、風疹およびムンプスについて—

藤田 稔子 (Fujita Toshiko)
西南女学院大学 保健福祉学部 看護学科

O2-158

けいれんや身体障害をもつ小児に対する予防接種に関する医師向けアンケート調査

田辺 卓也 (Tanabe Takuya)
市立枚方市民病院 小児科、大阪小児科医会勤務医部会障害児問題検討委員会、
厚生労働省ワクチン研究班・予防接種リサーチセンター調査研究費研究班

O2-159 日本脳炎ワクチンの相談に関する検討

中澤 和美 (Nakazawa Kazumi)
愛知県知多保健所 (前あいち小児保健医療総合センター)

O2-160 保護者の水痘・水痘ワクチンに対する意識調査
～静岡県富士市の公立保育園、幼稚園の保護者へのアンケートから～

飯泉 哲哉 (Iizumi Tetsuya)
社団法人 富士市医師会

一般演題 54

感染症・予防接種：感染症 2

▶ 13:00 - 14:00

座長：根路銘安仁 (Nerome Yasuhito)
鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 離島へき地医療人育成センター

O2-161 無鉤糸虫症の 10 歳女児例

鴨志田久美 (Kamoshida Kumi)
相模原協同病院 小児科

O2-162 保育所における腸管出血性大腸菌感染症発生時の対応と課題

岸本 剛 (Kishimoto Tsuyoshi)
埼玉県衛生研究所

O2-163 当院における RS ウイルス感染症、入院患者の臨床的検討

石川 央朗 (Ishikawa Teruaki)
日本大学医学部附属 練馬光が丘病院 小児総合診療科

O2-164 RS ウイルス感染症重症化予防に対する京都府内の産婦人科開業医の意識
—在胎 36 週未満の早産児の管理について—

伊藤 陽里 (Itou Hisato)
京都第二赤十字病院 小児科

O2-165 3 歳以降の百日咳感染症—2007 年 4-12 月の外来診療から—

倉持 雪穂 (Kuramochi Yukio)
西横浜国際総合病院 小児科

一般演題 55

喘息・アレルギー

▶ 14:00 - 15:00

座長：渡辺 徹 (Watanabe Toru) わたなべ小児科・アレルギー科クリニック

O2-166 病院普通食における食物アレルギーの配慮に関するアンケート調査の結果

中川 睦美 (Nakagawa Mutsumi)
金沢医科大学病院 栄養部

O2-167 アトピー性皮膚炎乳児における陽性アレルゲンについての検討

藤原 順子 (Fujiwara Junko)
東邦大学医療センター大橋病院

O2-168 当院における小児喘息キャンプへの取り組みについて—喘息キャンプ今昔

島内 泰宏 (Shimanouchi Yasuhiro)
三豊総合病院 小児科

O2-169 乳児期のアレルギー検査と喘息発症～大阪市の乳児アレルギー・喘息予防教室
で検査紹介した児の追跡結果について

新平 鎮博 (Niihira Shizuhiko)
大阪市保健所、大阪市立大学大学院 医学研究科 発達小児医学

02-170 乳幼児期のアレルギー・喘息予防教室（4）

前野 敏也（Maeno Toshiya）

堺市保健所

02-171 当院アレルギー外来における臨床心理士の役割

目黒 敬章（Meguro Takaaki）

特別医療法人 真美会 中野こども病院

02-172 当科の気管支喘息児に対する受動喫煙の影響の検討

西村 章（Nishimura Akira）

PL 病院